

10M LAN PC Card

CentreCOM® **LA-PCM-T V2**

ユーザーズマニュアル

ユーザズマニユアル

CentreCOM[®] LA-PCM-T V2

Copyright 1997-98 アライドテレシス(株)

使用および取り扱い上の注意

安全のために必ずお守りください。

本製品を安全に使用するために、以下の事項を必ずお守りください。これらの事項が守られていない場合、感電、怪我、火災、故障などの原因になります。



分解禁止

本製品のカバーを外したり分解したりしないでください。感電や故障の原因となります。また、メディアケーブルも分解しないでください。



稲妻危険

稲妻が発生しているとき、本製品やケーブルの設置などの作業を行わないでください。落雷により、感電する恐れがあります。



静電気注意

本製品・ケーブルは、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクタの接点部分などに素手で触れないでください。



取り付け及び取り外し時の注意

コンピュータの PC カードスロットに本製品を取り付ける作業は、必ずご使用のコンピュータのマニュアルを参照の上正しく行ってください。



取扱いは丁寧に

落としたり、ぶついたり、強いショックを与えたりしないでください。



次のような場所での使用や保管はしないでください



- ・直射日光の当たる場所
- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・急激な温度変化のある場所
(結露するような場所)
- ・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所
(静電気障害の原因にもなります)
- ・腐食性ガスの発生する場所
- ・スピーカ付近などの強磁界



動作温度と湿度

本製品は温度 0 ~ 55 °C、湿度最大 95 % (ただし、結露なきこと) の範囲内でご使用ください。



異物を入れないでください

本製品の隙間から金属、液体などの異物を入れないでください。本体内部に異物が入ると火災、感電などの恐れがあります。



長期保管時は袋に入れて



本製品を長期にわたって保管する場合は、コンピュータの PC カードスロットに入れたままにしないで必ず袋に入れてください。



日常のお手入れ

本製品の汚れは、やわらかい乾いた布でふいてください。ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。製品の変形、変色の原因になります。



運搬時の注意

本製品をコンピュータのPCカードスロットに装着したままでコンピュータを運搬するときには必ず付属のケーブルを外してください。



お子様の手の届かないところに保管してください



濡れたカードは使用しない

カードが万が一濡れた場合はショートによる感電・火災を防ぐため、絶対に使用しないでください。



高温注意

本製品は内部に多くの部品を集積しており、使用中に高熱を発生するようになります。ご使用直後はかなり高温になっておりますので、ご注意ください。火傷の恐れがあります。



この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

10M LAN PC Card
CentreCOM® **LA-PCM-T V2**



CentreCOM LA-PCM-T V2をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本製品はPCMCIA Release 2.1 / JEIDA Ver.4.2 に準拠した 10BASE-T 対応 Type II PC カード LAN アダプターです。

このマニュアルは本製品を正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただくために、保証書とともに大切に保管くださいますようお願いいたします。



アライドテレシス株式会社

内容物をご確認ください

本製品パッケージの内容は以下のとおりです。お買い上げの商品についてご確認いただき、万一不足するものがございましたらお手数ですがお買い求めの販売代理店までご連絡ください。

LA-PCM-T V2 カード本体 (永久保証対象)

(付属品)

メディアケーブル

お客様インフォメーション登録カード

ユーザーズマニュアル

永久保証書

ドライバーディスク

その他添付紙がある場合もあります

ご注意

- (1) 本マニュアルは、アライドテレシス(株)が作成したもので、全ての権利をアライドテレシス(株)が保有しています。アライドテレシス(株)に無断で本書の一部または全部を複製することを禁じます。
- (2) アライドテレシス(株)は、予告なく本マニュアルの一部または全体を修正、変更することがありますのでご了承ください。
- (3) アライドテレシス(株)は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- (4) 本製品の内容またはその仕様に関して発生した結果については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©1997-98 アライドテレシス株式会社

商標について

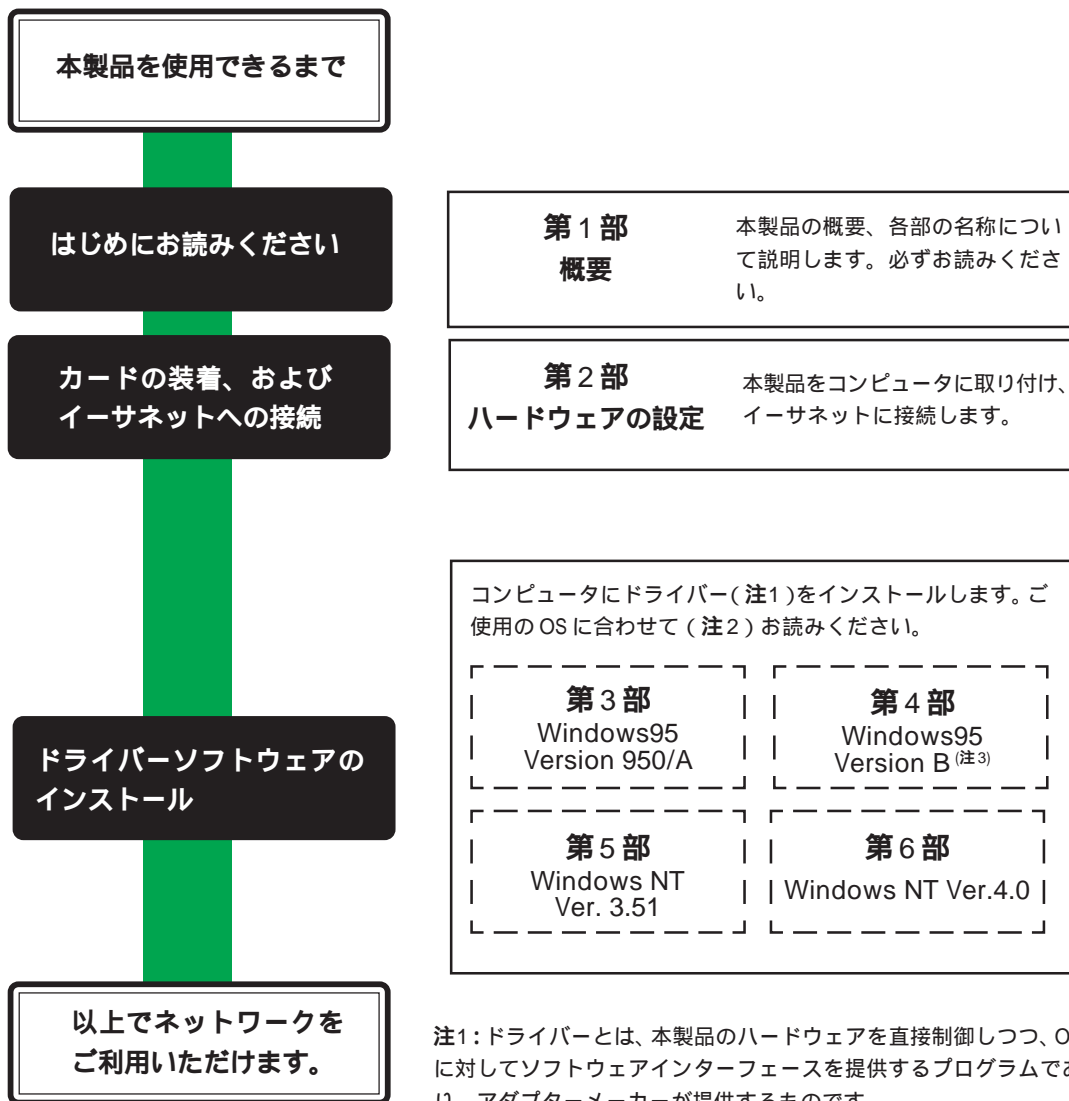
CentreCOM、CentreNET はアライドテレシス株式会社の登録商標です。
Windows、Windows NT、MS-DOS は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

マニュアルバージョン

1997年8月	Rev.A (Ver. 1.0 pl. 0)	1st release
1998年2月3日	Rev.B (Ver. 1.1 pl. 0)	記述訂正と画面修正、 PC98-NX の記載追加

本マニュアルの構成

このマニュアルは、CentreCOM LA-PCM-T V2（以下、「本製品」と表記）の使用方法について説明するものです。このマニュアルは以下のような構成になっています。



付録

巻末に付録として以下の2章を設けています。必要に応じてお読みください。

本製品についてもっとよく知りたいときは

付録 A
製品仕様

本製品を使用していく上で必要(参考)になっていくと思われる情報について説明します。

本製品についての問い合わせをするときは

付録 S
保証・ユーザーサポート

本製品に関する保証・ユーザーサポートについて説明します。

表記について

本マニュアルでは、各用語を以下の意味で使用しています。

AT 互換機	DOS/V 搭載機種
PC-98	NEC PC-98 シリーズノートパソコン
Version 950	Windows95 Ver.4.00.950
Version A	Windows95 Ver.4.00.950a
Version B	Windows95 Ver.4.00.950 B

このバージョンは Version B・OSR2 (= OEM Service Release 2)・Type B などの呼称が存在しますが、本書では "Version B" に統一します。

目次

ご注意	v
商標について	v
マニュアルバージョン	v
本マニュアルの構成	vi
付録	vii
表記について	vii
Keyword Index 索引	xii
第1部 概要	1-1
1 特長	1-2
2 使用環境	1-3
2.1 対応コンピュータ機種	1-3
2.2 付属ドライバー	1-3
3 各部の名称	1-4
3.1 外観図	1-4
3.2 各部の説明	1-5
4 製品裏面のラベルについて	1-6
第2部 ハードウェアの設定	2-1
1 メディアケーブルの接続	2-2
1.1 メディアケーブルの装着	2-2
1.2 メディアケーブルを取り外す	2-2
2.2 取り外し	2-3
2. PCカードスロットへの取り付け・取り外し	2-3
2.1 PCカードスロットへの取り付け	2-3
3 活線挿抜について (重要)	2-4
3.1 ご注意	2-4
3.2 活線挿抜 1 - カードの挿入 (Windows95)	2-5
3.3 活線挿抜 2 - カードの取り外し (Windows95)	2-6
4 ネットワークに接続する	2-7
4.1 接続手順	2-7
4.2 リンクの確認	2-8
4.3 通信ができない場合～ネットワークの確認	2-8

第3部	Windows95 Version 950/A	3-1
1	準備と確認	3-2
2	PCMCIA コントローラの有効化	3-3
3	ドライバーのインストール	3-6
4	インストールの確認とアダプターの設定	3-10
4.1	デバイスマネージャによる確認	3-10
4.2	PCカード (PCMCIA) による確認	3-12
4.3	リソースの確認	3-12
4.4	ネットワークの設定	3-13
5	ドライバーの削除と再インストール	3-14
5.1	ドライバーの削除	3-14
5.2	再インストール	3-15
6	トラブルシューティング	3-16
6.1	正常にインストールできない	3-16
6.2	PCMCIA コントローラが正しく表示されない	3-17
6.3	リソース値重複の回避	3-18
第4部	Windows95 Version B	4-1
1	準備と確認	4-2
2	PCMCIA コントローラの有効化	4-3
3	ドライバーのインストール	4-6
4	インストールの確認とアダプターの設定	4-10
4.1	デバイスマネージャによる確認	4-10
4.2	PCカード (PCMCIA) による確認	4-12
4.3	リソースの確認	4-12
4.4	ネットワークの設定	4-13
5	ドライバーの削除と再インストール	4-14
5.1	ドライバーの削除	4-14
5.2	再インストール	4-17
6	トラブルシューティング	4-18
6.1	正常にインストールできない	4-18
6.2	アイコンに「x」マークが付いている	4-19
6.3	PCMCIA コントローラが正しく表示されない	4-20
6.4	リソース値重複の回避	4-21

第5部	Windows NT Ver. 3.51	5-1
1	準備と確認	5-2
2	ドライバーのインストール	5-3
2.1	準備	5-3
2.2	リソースの確認	5-4
2.2.1	概要	5-4
2.2.2	リソースの値	5-4
2.2.3	Windows NT 診断プログラムの使用方法	5-5
3	ドライバーのインストール	5-7
4	インストール後	5-17
4.1	リソース値の確認	5-17
4.2	本製品を使用しないとき	5-18
5	ドライバーの削除と再インストール	5-19
5.1	ドライバーの削除	5-19
5.2	再インストール	5-20
第6部	Windows NT Ver. 4.0	6-1
1	準備と確認	6-2
2	ドライバーのインストール	6-3
2.1	準備	6-3
2.2	リソースの確認	6-4
2.2.1	概要	6-4
2.2.2	リソースの値	6-4
2.2.3	Windows NT 診断プログラムの使用方法	6-5
3	ドライバーのインストール	6-7
4	インストール後	6-16
4.1	リソース値の確認	6-16
4.2	本製品を使用しないとき	6-17
5	ドライバーの削除と再インストール	6-18
5.1	ドライバーの削除	6-18
5.2	再インストール	6-19

付録 A	A-1
1 規格仕様	A-2
2 10BASE-T インターフェース	A-3
3 MAC アドレス	A-4
S. 保証・ユーザーサポート	S-1
1 保証	S-2
2 ユーザーサポート	S-2
3 調査依頼書のご記入にあたって	S-3
4 最新ドライバーソフトウェアの入手方法	S-5
調査依頼書(CentreCOM LA-PCM-T V2 1/2)	S-6
調査依頼書(CentreCOM LA-PCM-T V2 2/2)	S-7

Keyword Index 索引

記号

¥windows¥options¥cabs 3-8
10BASE-T 1-2, A-2, A-3

A

ACT LED 1-4, 1-5
ACTIVITY 1-5
AT 互換機 vii, 1-2, 1-3, 3-2

C

CardBus 1-2, 1-5, 4-3, 4-10, 4-20
CONFIG.SYS 3-5

D

DHCP リレー 6-13
Direct Enabler 5-12
DNS 5-15, 6-13
DOS/V 1-3

I

I/O Base Address 5-6, 6-6, 6-16
I/O ベースアドレス 3-12, 3-18, 4-12, 4-21, 5-4, 6-4, 6-11, 6-16, A-2
IRQ 3-12, 3-18, 4-12, 4-21, 5-4, 5-5, 5-6, 5-11, 5-12, 6-4, 6-5, 6-11, 6-16, A-2

J

JEIDA Ver. 4.2 1-2, 1-3, A-2

L

LED 1-2, 1-5
LINK 1-5
LNK LED 1-4, 1-5, 2-8

M

MAC アドレス 1-6, A-4
MAC アドレスラベル 1-6, A-4

O

OSR2 3-1, 3-2, 4-1

P

PC Card Standard 1-2, 1-3
PC-98 vii, 1-2, 1-3, 3-2
PCIC Base Address 5-12
PCMCIA 1-2, 1-3, 2-5, 2-8, 3-3, 3-4, 3-5, 3-10, 3-12, 3-17
PCMCIA Rel. 2.1 1-2, 1-3, A-2
PCMCIA Slot 5-12
PCMCIA カード 3-3
PCMCIA コントローラ 2-8, 3-3, 3-10, 3-17, 4-3, 4-4, 4-10, 4-20, 5-12
PCカード 1-2, 1-3, 1-5, 2-3, 2-5, 2-6, 3-3, 3-4, 3-5, 3-6, 3-12, 3-14, 3-15, 3-16, 3-17, 4-3, 4-4, 4-5, 4-6, 4-12, 4-14, 4-15, 4-17, 4-18, 4-20, 5-3, 5-12, 5-18, 6-3, 6-17, A-2
PCカード(PCMCIA)ウィザード 3-4, 4-4
PCカードスロット 1-2, 1-3, 1-5, 2-3, 2-5, 3-6, 3-14, 3-15, 3-16, 3-17, 4-6, 4-14, 4-17, 4-18, 4-20, 6-3, 6-17
Plug & Play 2-5, 3-18, 4-21, 5-2, 5-4, 6-2, 6-4

R

RJ-45 1-2, 1-4, 1-5, A-3
RJ-45 モジュラージャック 1-4, 1-5

T

TCP/IP 5-9, 5-14, 5-15, 5-19, 6-10, 6-12, 6-18, A-4
Type II 1-2, A-2

W

Windows NT 診断プログラム 5-4, 5-5, 6-4, 6-5
Windows3.1 3-5
Windows95 vi, 3-2, 4-9, S-6
Windows95 Version B 3-2
WINS 6-13

イ

インタラプト 3-12, 3-18, 4-12, 4-21, 6-5, 6-11, A-2

エ

永久保証書 1-6, S-2

オ

お客さまインフォメーション登録カード 1-6, S-2

カ

カードI/Oコネクタ 1-4, 1-5, 2-2
活線挿抜 5-2, 6-2

ケ

ケーブルI/Oコネクタ 1-4, 1-5, 2-2
警告ラベル 1-6

コ

コントロールパネル S-4

シ

システムレポート S-4

シリアルナンバー 1-6, A-4, S-3, S-6
シリアルナンバーラベル 1-6

セ

全二重. Full duplex を参照

ソ

ソケットサービス 3-5

タ

対応コンピュータ機種 1-3

チ

調査依頼書 S-6

テ

デバイスマネージャ 3-10, 3-11, 3-12, 3-14, 3-15, 3-17, 3-18, 4-10, 4-12, 4-14, 4-15, 4-18, 4-19, 4-20, 4-21, S-4

ト

ドライバー 3-2, 4-2
ドライバーディスク 3-2, 3-6, 3-9, 4-2, 4-6, 4-9, 5-3, 5-10, 6-3, 6-9

ネ

ネットワークケーブル 1-5, 2-7, 2-8

ハ

ハードウェア互換性リスト 5-2, 6-2
パケット 1-5
ハブ 2-7, 2-8
半二重. Half duplex を参照

メ

メディアケーブル 1-4, 1-5, 2-2, 2-7, 3-2, 4-2, 6-3, A-2

リ

リソース 3-18, 4-21, S-4

リンク 1-5, 2-8

第 1 部 概要

第 1 部では、本製品の特長、使用環境、各部の名称について説明します。

1 特長

本製品は以下の特長をもつPCカード型ネットワークアダプターです。

PCMCIA Rel. 2.1 / JEIDA Ver. 4.2 に対応

Type II PCカードスロットをもつAT互換機/NEC PC98-NX、NEC PC-9800/
PC-9821 に対応

10M Ethernet (10BASE-T)に対応

接続アダプターが付属

(RJ-45型10BASE-Tコネクタ(メス)を提供)

動作状態を表示する2個のLEDが付属(カード本体)

2 使用環境

2.1 対応コンピュータ機種

本製品は PCMCIA Rel. 2.1 / JEIDA Ver. 4.2 **対応** PC カードスロットを持つ以下のコンピュータ機種に対応しています。

AT 互換機 (DOS/V 機)
NEC PC98-NX シリーズ
NEC PC-9800/PC-9821 シリーズ

2.2 付属ドライバー

本製品には以下のドライバーが付属しています。

AT 互換機 (DOS/V 機) PC98-NX シリーズ
Windows95 用 NDIS ドライバー
Windows NT (Ver. 3.51 以上) NDIS ドライバー
NEC PC-9800/PC-9821 シリーズ
Windows95 用 NDIS ドライバー
Windows NT (Ver. 3.51 以上) NDIS ドライバー

3 各部の名称

3.1 外観図

1

LA-PCM-T V2 カード本体

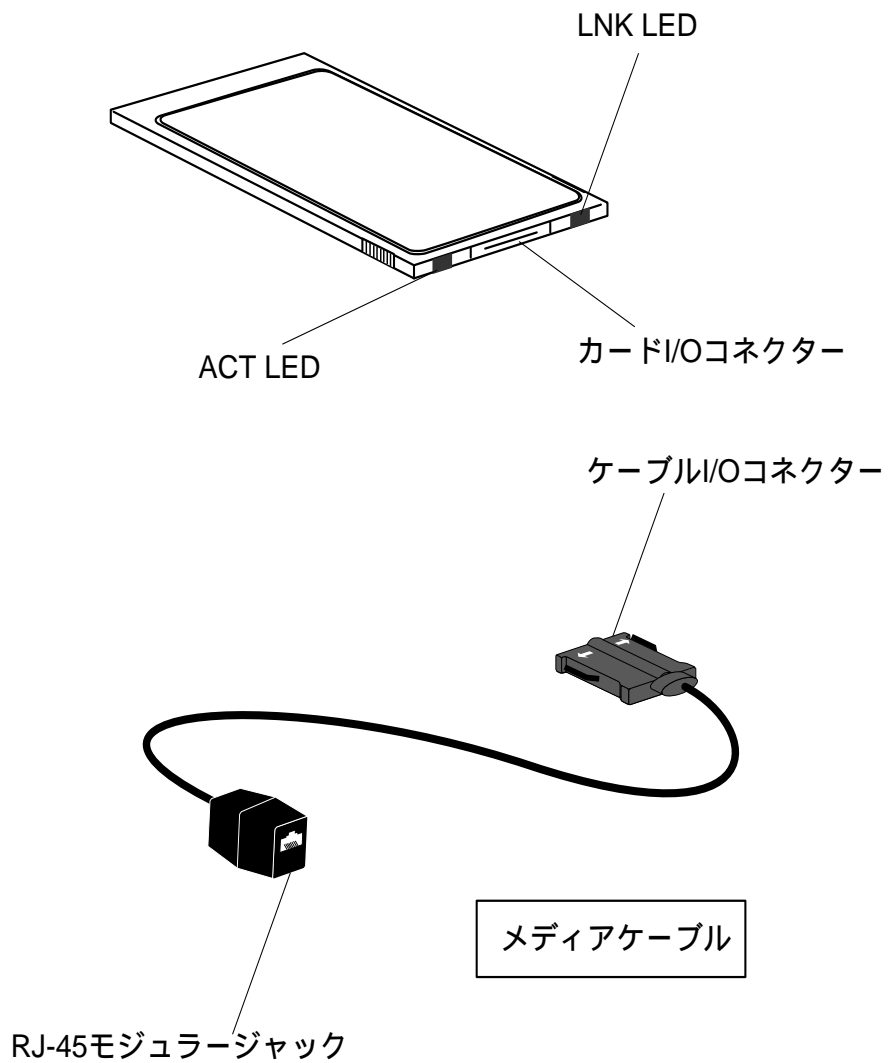


図 1-1 LA-PCM-T V2 外観図

3.2 各部の説明

1. LA-PCM-T V2 カード本体

コンピュータのPCカードスロットに挿入し、ネットワークアダプターの機能を提供します。

1-1. カードI/Oコネクタ

「2-4 ケーブルI/Oコネクタ」を接続します。

2. メディアケーブル

本製品とネットワークを接続します。

2-1. ACT (ACTIVITY) LED (左)

パケットの送受信が行われると黄色で点灯します。

2-2. LNK (LINK) LED (右)

対向機器と正常にリンクが確立されると緑色で点灯します。

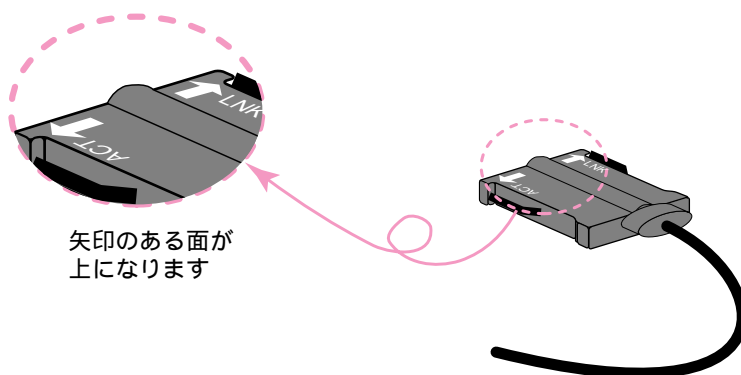
2-3. RJ-45 モジュラージャック

ネットワークケーブルのモジュラープラグを差し込みます。

ネットワークケーブルについては第2部をご覧ください。

2-4. ケーブルI/Oコネクタ

「1-1. カードI/Oコネクタ」に接続します。白矢印のある面を上にして接続してください。上下の面を逆にすると装着できないようになっていきますので、挿してみても抵抗を感じるようでしたら、絶対に無理に押し込まないでください。破損の原因になります。



矢印のある面が
上になります

4 製品裏面のラベルについて

本製品の裏面にはラベルが3枚貼付されています。
各ラベルの内容は以下の通りです。

1

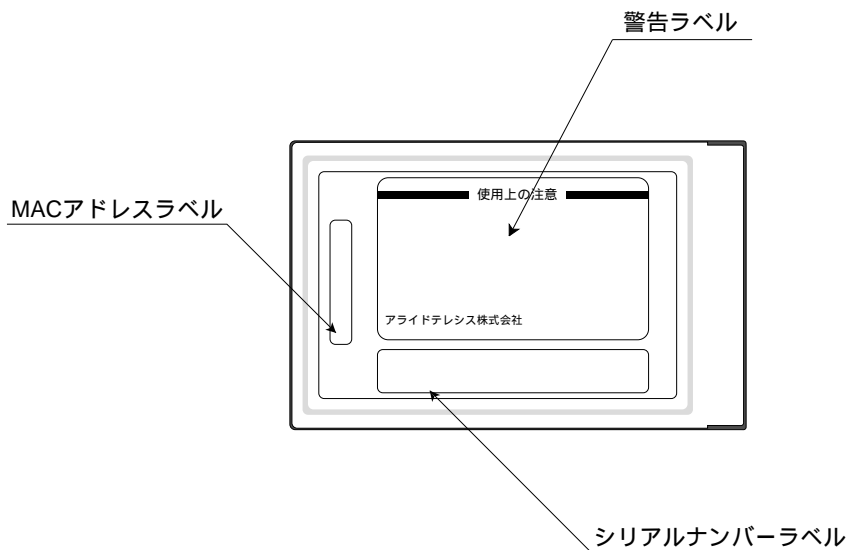


図 1-2 本製品裏面

1 警告ラベル

本製品を安全にご使用いただくために重要な情報が記されています。必ずお読みください。

2 MAC アドレスラベル

各カードに固有のMACアドレスが記入されています。MACアドレスについては付録A「3 MAC アドレス」をご覧ください。

3 シリアルナンバーラベル

本製品のシリアルナンバー(製造番号)が記入されています。パッケージ(外箱)の側面に貼付されているラベルや同梱のシリアルナンバーラベル(3枚)と同じものです。

(同梱されているシリアルナンバーラベルは「お客さまインフォメーション登録カード」と「永久保証書」に貼付してください。残る1枚は予備です。)

第2部 ハードウェアの設定

第2部では、本製品をコンピュータに取り付け、イーサネットに接続するまでの手順を紹介します。

1 メディアケーブルの接続

1.1 メディアケーブルの装着

下図のように、メディアケーブルのケーブルI/Oコネクタを白矢印のある面を上にして、コネクタ両側にある爪を押さえながらカードI/Oコネクタに「カチッ」と音がするまで挿し込んでください。挿し込んだらメディアケーブルを軽く引っ張ってみて抜けないことを確認してください。

2

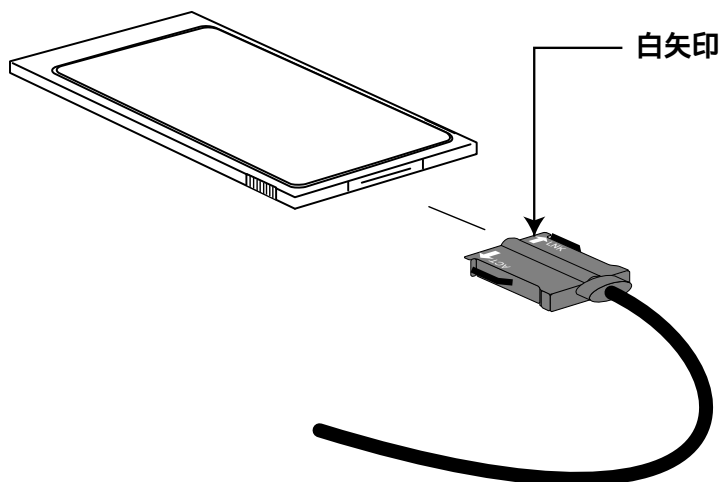


図2.1 メディアケーブルの装着

1.2 メディアケーブルを取り外す

メディアケーブルをカード本体から取り外すときはケーブルI/Oコネクタ両側の爪の部分を親指と人差し指で摘みながら引いてください。



ケーブルI/Oコネクタに無理な力をかけて引き抜くことは絶対におやめください。カード・コネクタ双方が破損する恐れがあります。

2. PC カードスロットへの取り付け・取り外し

ここでは、本製品のPCカードスロットへの取り付けおよび取り外しの手順を、コンピュータの電源を入れないで行うという前提で説明します。コンピュータの電源を入れたままでカードの抜き差しをする場合は「3.活線挿抜について」を先にお読みください(ただし、Windows NTでは活線挿抜はできません)。

2

2.1 PC カードスロットへの取り付け

- (1) "LA-PCM-T V2" の文字が印刷された面を上にして[†]コンピュータの PC カードスロットに挿入してください。PC カード取り付けについての詳細は、ご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。
- (2) 本製品をカチッと手応えがあるまで押し込んでください。

2.2 取り外し

コンピュータの取り外しボタンを押すと、本製品はPCカードスロットから外れ、手で取り出せる状態になります。



メディアケーブルを引っ張ってカードを引き抜くことは絶対におやめください。本製品・ケーブルの故障の原因となります。

[†] コンピュータの機種によっては下に向けて装着するものもあります。

3 活線挿抜について（重要）

3.1 ご注意

本製品の抜き差しをコンピュータの電源が入ったままで行う（活線挿抜する）場合は以下の点に注意して行ってください。特に以下の点にご注意ください。これらの点をお守りいただかないで起こった障害に関してはユーザーサポートの対象外とさせていただきます。

ただし、活線挿抜できるのはWindows95をご使用の場合のみです。Windows NTをご使用の場合は絶対に活線挿抜でなく、コンピュータの電源を切った状態で本製品の抜き差しを行ってください。



（Windows95の場合）必ず本書に記載した手順にしたがってください。

活線挿抜を行うにはいくつかの注意点があり、注意を怠るとコンピュータのハングアップや、Windows95ファイルの破壊を招くおそれがあります。本製品の抜き差しを行う際は3.2～3.3項を熟読の上、慎重に行ってください。

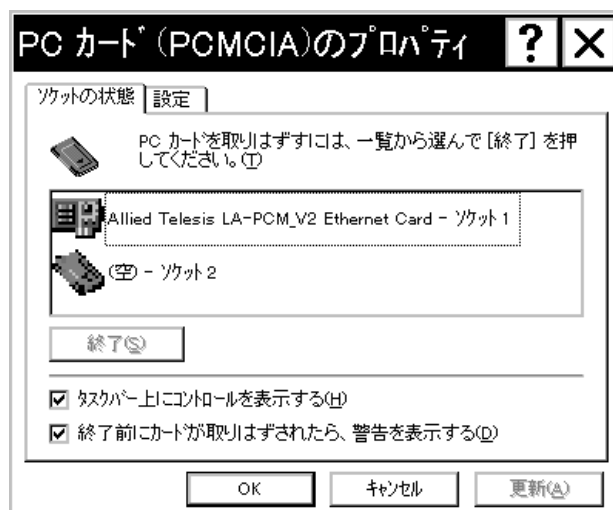


パケットの送受信が行われていないことをご確認ください。

パケットの送信または受信が行われている最中にカードを抜くことは絶対におやめください。コンピュータに悪影響を及ぼすおそれがあります。パケットの送受信はACT LED（カード本体に装備）の点灯で判断できます。

3.2 活線挿抜1 - カードの挿入 (Windows95)

コンピュータの電源が入った状態で本製品をPCカードスロットに挿入するとWindows95はPlug & Play機能により本製品を検出し、「ソケットの状態」(「コントロールパネル」 「PCカード (PCMCIA)」 「ソケットの状態」)に「Allied Telesis LA-PCM_V2 Ethernet Card」の名前を表示します[†]。



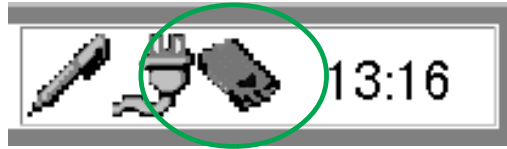
画面 3.1 ソケットの状態

[†] 1 初めて本製品を挿入したとき (= 本製品用のドライバーのインストールが行われていない場合) は PC カードウィザードの起動、またはドライバーのインストールが開始されます。詳細は第 3 部および第 4 部をご覧ください。

3.3 活線挿抜 2 - カードの取り外し (Windows95)

コンピュータの電源が入っているときに本製品を抜くと実行中のアプリケーションの動作に支障をきたすおそれがありますので、安全のために必ず以下の操作を行ってからカードを抜いてください。

1. タスクバー (スクリーン右下) の PC カードアイコンをクリックします。



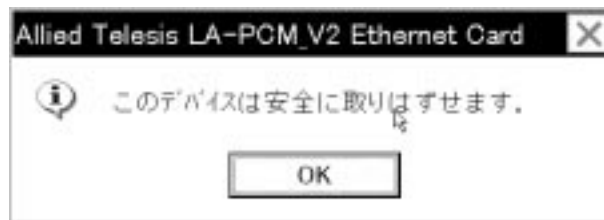
画面3.2 PCカードアイコン

2. 「Allied Telesis LA-PCM_V2 Ethernet Card の中止」バーが表示されたらバーをクリックしてください。



画面3.3

3. 「OK」をクリックしてください。



画面3.4

4. 「2.2 取り外し」にしたがって、カードを取り外します。

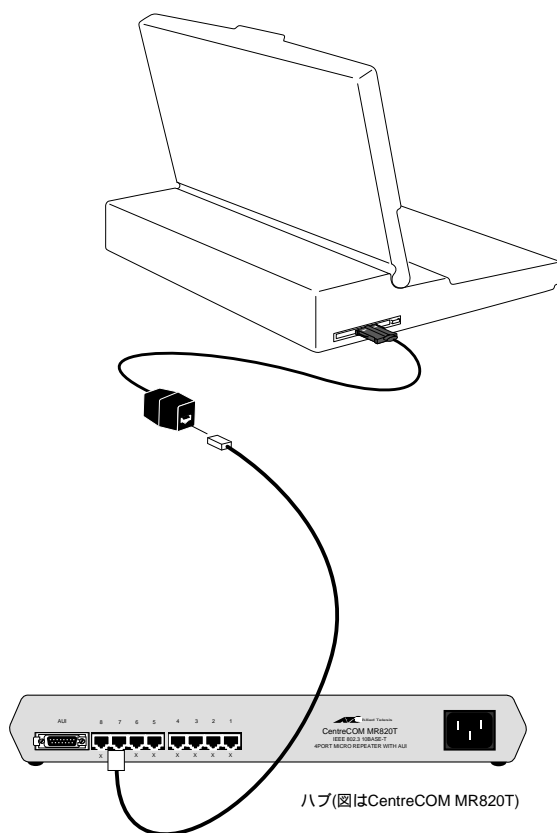
4 ネットワークに接続する

4.1 接続手順

ここでは例として、本製品をハブと接続する場合について説明します (下図参照)。

- (1) ネットワークケーブルのモジュラープラグをメディアケーブルのモジュラージャックに、カチッと音がするまで挿し込んでください^{†1}。
- (2) ネットワークケーブルを引っ張ってみて抜けないことを確認してください。
- (3) ネットワークケーブルのもう一方のモジュラープラグをハブのモジュラージャック (PORT と表記されている場合もあります) に差し込んでください。

2



ハブ(図はCentreCOM MR820T)

図4.1 ネットワークへの接続

^{†1} モジュラープラグを挿入または外すときにはプラグの爪を親指で押さえながら行います。

4.2 リンクの確認

最後に、ハブとコンピュータの両方に電源を投入し、本製品のLNK LEDとハブのLINK OK LEDの両方が点灯することを確認します。点灯が確認できれば、ネットワークへの接続は正常に完了しています。

どちらか一方しか点灯していない、または両方が消灯している場合は本製品とハブは正しくリンクしていません。その場合はネットワークケーブルの断線やケーブルの配線ミス、使用ケーブルの誤りなどが考えられますので、次の4.3項を参照の上、処置を施してください。



ご使用の状態によっては大変熱くなります。

本製品は内部に高度に集積した構造を持っていますので、ご使用中に高熱を発生することがありますが、異常ではありませんので安心してご使用ください。

4.3 通信ができない場合～ネットワークの確認

PCMCIAコントローラや本製品のドライバーが正しくインストールされているにも関わらず通信ができない場合は次のような原因が考えられます。(ドライバーのインストールについては第3部以降をご覧ください。)

1. 使用するプロトコル、クライアントなどの設定が適切ではありません。

「コントロールパネル」の「ネットワーク」で正しく設定してください。

2. ケーブルがきちんと接続されていません。

ご使用の10BASE-Tケーブルがしっかり接続されていないか、断線しているか、適切なものを使用していません。ケーブル類の接続をし直す、ケーブル類を交換してみる、ハブのポートを入れ替えてみるなどを行ってみてください。

ハブと本製品が物理的に正しく接続されていれば、ハブと本製品のリンクランプ(LNK)が両方とも点灯します。また、ネットワークの packetsを受信したとき、本製品のACTランプが点灯します。

リンクランプを持たないハブもあります。また、リンクランプが別の名前と呼ばれていることがあります。例えば、当社製ハブ「MR820TR」ではリンクの表示は「PORT OK」となっています。

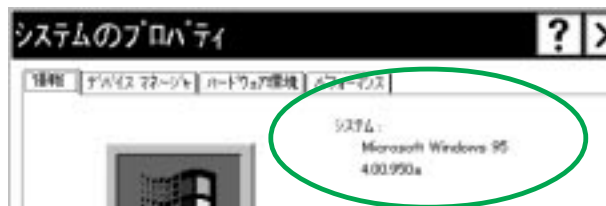
第3部

Windows95 Version 950/A

第3部では、本製品のドライバーをWindows95 Version950およびVersionA上にインストールする手順を説明します。

ご使用のWindows95のバージョンをご確認ください

初めに、ご使用のWindows95のバージョンを「システム」(コントロールパネル)で確認します。「スタート」「設定」「コントロールパネル」「システム」「情報」と進み、「システム:」の番号が"4.00.950"であればVersion950、"4.00.950a"であればVersionAです。
"4.00.950 B"の場合はVersion B(OSR2)です。第4部「Windows95 VersionB」へお進みください。



Windows95 のバージョン表示 (VersionA の場合)

1 準備と確認

インストールを始める前に、以下のものをご用意ください。

1. LA-PCM-T V2 カード本体
他のハードウェア(メディアケーブル等)はインストールの段階では特に必要ではありません。
2. コンピュータ (Windows95 Version950/A インストール済み)
3. Windows95 のマスターディスク (CD-ROM またはフロッピーディスク)
4. LA-PCM-T V2 ドライバードиск (本製品付属)
ドライバードискはAT **互換機**/NEC PC98-NX用、PC-9800/PC-9821用の2枚が用意されています。ご使用のコンピュータに合わせてお使いください。



重要:ご使用のコンピュータのOSがプリインストール版であり、バックアップCD-ROMをお持ちでない場合は、必ずフロッピーディスクにバックアップを取った後でドライバーのインストールを開始してください。

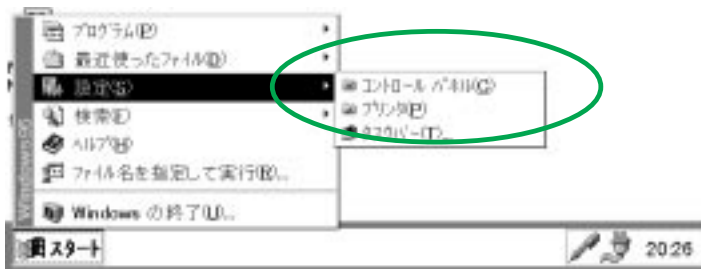


ここに挙げた手順は一例です。お客様の環境によっては、手順が若干異なることがあります。(本書に掲載した画面はAT互換機のもので、PC-9800シリーズの場合はディスクドライブ名が異なります。)

2 PCMCIA コントローラの有効化

ドライバーをインストールする前に、以下の手順を実行してください。この手続きにより、Windows95がPCカードを自動認識するための機能が有効化されます[†]。この時点では、まだ本製品をコンピュータに取り付けないでください。

- (1) コンピュータに電源を投入し、Windows95 を起動します。
- (2) 「スタート」をクリックし、「設定(S)」から「コントロールパネル(C)」を選択します。



画面 2.1 コントロールパネルの選択 (デスクトップ)

- (3) 「PC カード(PCMCIA)」アイコンをダブルクリックします。

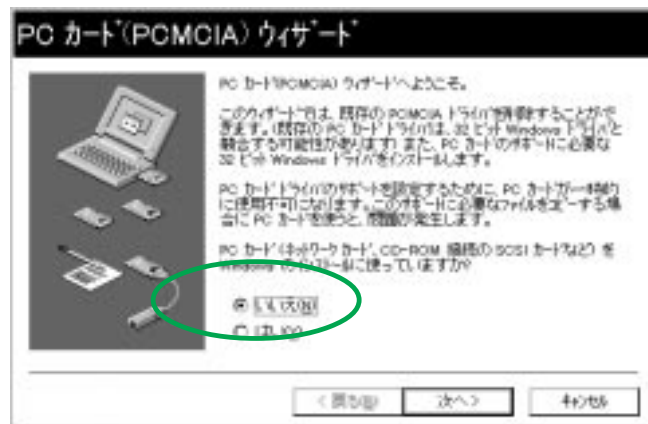


画面 2.2 「PC カード (PCMCIA)」アイコン

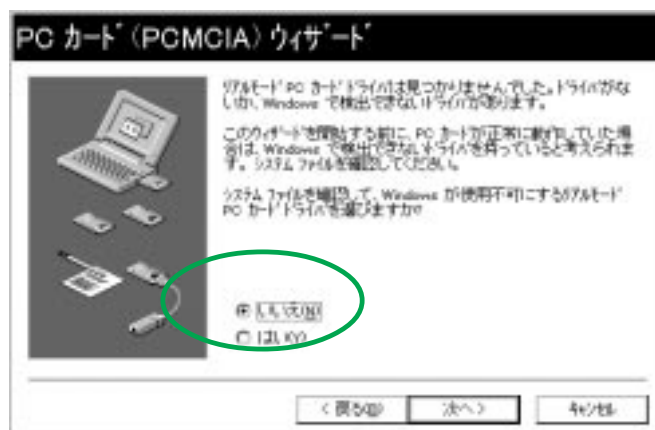
[†] この手順はPCカードを初めて使用する際に 1 回だけ実行します。本製品を使用するたびに実行する必要はありません。

- (4) 「PCカード(PCMCIA)ウィザード」が起動します[†]。
 「PCカード(PCMCIA)ウィザード」は、2つの質問を行います。通常は、2つの質問のそれぞれに対して「いいえ(N)」を選択し、「次へ>」をクリックしてください。

3



画面2.3 PCカード(PCMCIA)ウィザード1



画面2.4 PCカード(PCMCIA)ウィザード2

[†] 以前にこの手順を実行したことがあればこのパネルは表示されず、「PCカード(PCMCIA)のプロパティ」(4.2項参照)が表示されます。また、プリインストール版Windows95をご使用の場合も、同様に「PCカード(PCMCIA)のプロパティ」が表示されることがあります。この場合は「PCカード(PCMCIA)のプロパティ」を閉じ、「3 ドライバーのインストール」に進んでください。

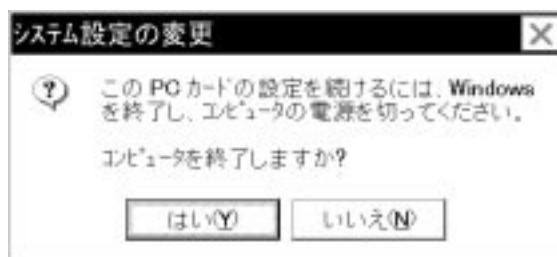
- (5) 「PCカードウィザード」が終了すると、次のダイアログが表示されますので、「完了」をクリックしてください。

(注)Windows3.1の環境からWindows95にアップグレードしたコンピュータの場合は、この作業によってCONFIG.SYSに記述された既存の16ビットカードサービス、ソケットサービスはコメントアウトされます。



画面 2.5 PC カード (PCMCIA) ウィザードの完了

- (6) 次のダイアログが表示されますので、「はい(Y)」をクリックしてください。Windows95 が終了したら、コンピュータの電源を切ります。



画面 2.6 「システム設定の変更」ダイアログ

以上でPCカードを使用する準備は整いました。引き続き、「3 ドライバーのインストール」へお進みください。

3 ドライバーのインストール

1. コンピュータの電源を入れ、Windows95 を起動します。
2. コンピュータのPCカードスロットに本製品を挿入します。

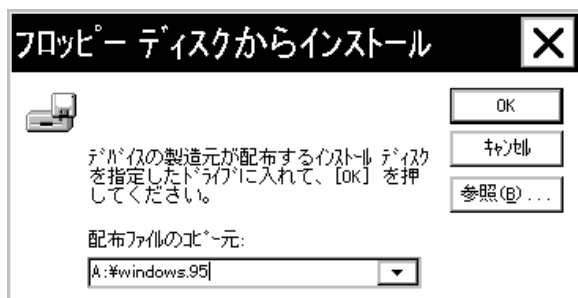
挿入の手順については「第2部 ハードウェアの設定」およびご使用のコンピュータのマニュアルを参照してください。

3. Windows95は本製品を自動的に検出し、「新しいハードウェア」ダイアログに「Allied Telesis. K.K.-CentreCOM LA-PCM_V2」の名前を表示します。「ハードウェアの製造元が提供するドライバ(M)」を選択し、「OK」をクリックしてください。



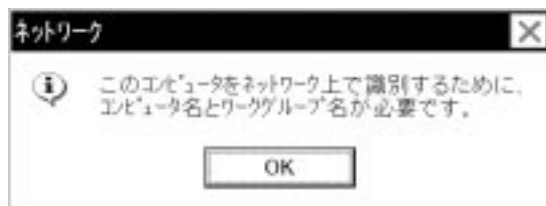
画面 3.1 「新しいハードウェア」

4. 「フロッピーディスクからインストール」が表示されます。フロッピーディスクドライブにドライバーディスクを入れ"A:¥windows.95"(または "A:¥")と入力し、「OK」をクリックします。(ここでは、フロッピーディスクドライブをA:と仮定します。)



画面 3.2 パスの入力

- 4'-1. ご使用のコンピュータに初めてネットワークアダプターをインストールする場合は下のダイアログが表示されます。内容を読んだ上で「OK」をクリックしてください。



画面 3.3

- 4'-2. 続いて下のダイアログが表示されます^{†1}。ネットワーク管理者に確認の上、コンピュータ名、ワークグループ名^{†2}およびコンピュータの説明（省略可）を入力してください。



画面 3.4 ネットワークの設定

†1 このダイアログの内容をインストール後に変更する場合は「ネットワーク」(コントロールパネル)を起動し、「ユーザー情報」タブを選択してください。

†2 コンピュータ名およびワークグループ名の入力には15字以下の半角文字を使用します。詳細はWindows95のマニュアルおよびオンラインヘルプをご覧ください。

5. ドライバーおよび必要なWindows95ファイルがハードディスクにコピーされます。コピーの途中でWindows95のマスターディスクが要求されますので(画面3.5参照)ご使用のWindows95の形態に応じて以下のようにパスを入力してください。

プリインストール版 Windows95 の場合

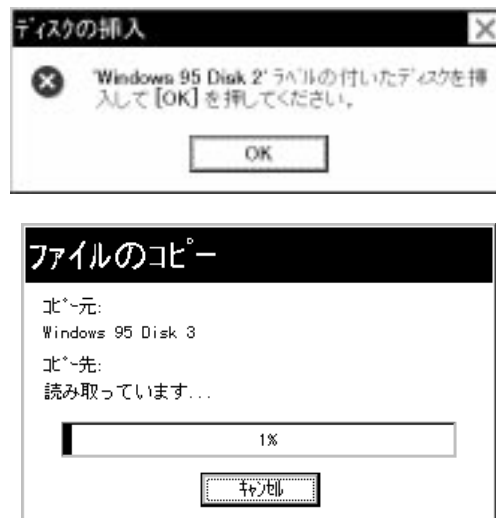
この場合はWindows95ファイルが既にハードディスクにコピーされています。画面上ではディスクを入れるように要求されますが、そのまま「OK」をクリックしてダイアログを閉じ、「C:¥windows¥options¥cabs」[†]を指定してください。(ここではWindows95の起動ディスクパーティションをC:と仮定します。)

CD-ROM の場合

CD-ROM をドライブに挿入し、「E:¥WIN95」を入力してください。(ここでは、CD-ROM ドライブをE:と仮定します。)

フロッピーディスクの場合

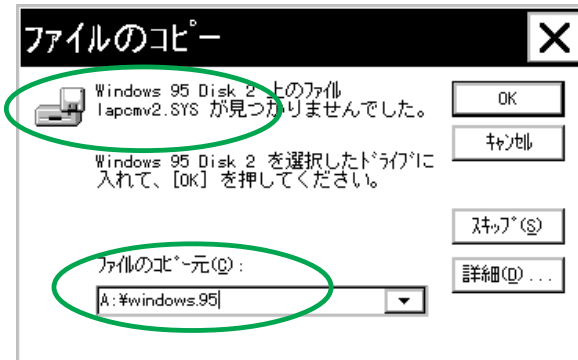
指示された番号のディスクをフロッピーディスクドライブに入れ、「ファイルのコピー元(C):」で「A:¥」を入力してください。(ここではフロッピーディスクドライブをA:と仮定します。)



画面3.5(上) ディスクの要求画面 3.6(下) ファイルのコピー(フロッピーディスクの場合)

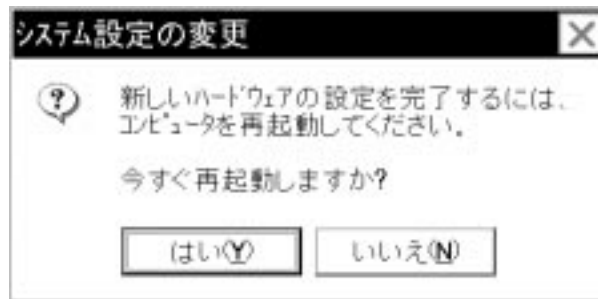
† 機種によっては¥windows¥options¥cabs と異なる場所に保存されていることもあります。その場合はコンピュータのマニュアルをご覧になるか、検索コマンドにより拡張子「cab」のファイルが存在するディレクトリを探し、そのディレクトリパスを指定してください。

6. (重要)場合によっては画面3.7()のようなダイアログが表示されることがあります。このとき、ファイル "lapcmv2.SYS" は Windows95のマスターディスク上のファイルとして説明されていますが、実際にはドライバーディスクの中に収められていますので、ディレクトリとして「A:¥windows.95」(または「A:¥」)を入力してください。(ここでは、フロッピーディスクドライブをA:と仮定します。)



画面 3.7 lapcmv2.SYS の要求 (例)

7. 「システム設定の変更」が表示されます⁺。「今すぐ再起動しますか?」という問いに対して、「はい(Y)」をクリックし、(フロッピーディスクを取り出して)コンピュータを再起動します。



画面 3.8 システム設定の変更

8. 以上でドライバーのインストールは終了です。引き続き、「4 インストールの確認とアダプターの設定」にお進みください。

⁺ ご使用のコンピュータに既に他のネットワークアダプターのドライバーをインストールしたことがある場合、このダイアログは表示されません。この場合も必ず再起動して本製品のドライバーを有効化してください。

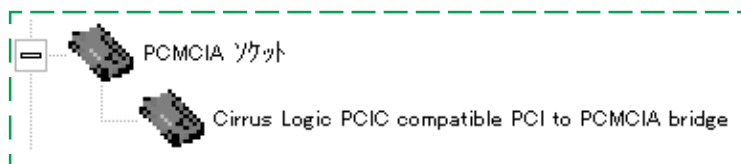
4 インストールの確認とアダプターの設定

再起動したら、初めにドライバーのインストールが正常に行われていることを確認し、さらに必要な設定を行います。

4.1 デバイスマネージャによる確認

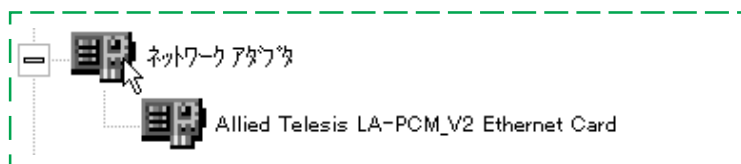
初めに、「システム」(コントロールパネル)をダブルクリックし、「デバイスマネージャ」を表示します。インストールが正常に行われていれば「PCMCIA ソケット」[†]の下にご使用のコンピュータにインストールされているPCMCIAコントローラの名前が表示されます。

3



画面 4.1 PCMCIA コントローラ (例)

また「ネットワークアダプタ」の下に「Allied Telesis LA-PCM_V2 Ethernet Card」が表示されます。



画面 4.2 ネットワークアダプタ

これらのアイコンに「×」「?」「!」などのマークがついていたり、あるいはアイコンが「ネットワークアダプタ」の下ではなく「不明なデバイス」や「その他のデバイス」にある場合は、インストールに失敗しています。詳しくは「6 トラブルシューティング」をご覧ください。

[†] PCMCIA コントローラの名前はご使用のコンピュータにより異なります。

次に、デバイスマネージャで「Allied Telesis LA-PCM_V2 Ethernet Card」(画面 4.2 参照)を選択(反転表示)し、「プロパティ」「情報」と進みます。「デバイスの状態」で「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることをご確認ください。

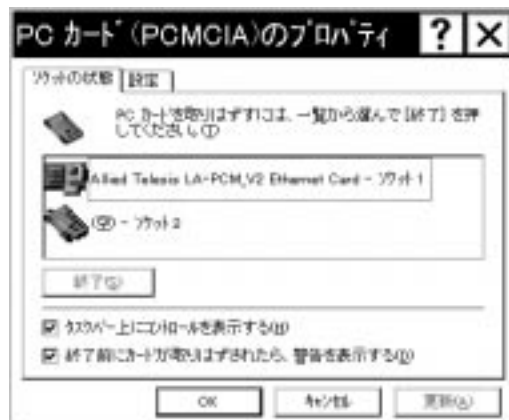


3

画面 4.3 デバイスの状態

4.2 PCカード (PCMCIA) による確認

次に、「PCカード (PCMCIA)」（コントロールパネル）をダブルクリックし、「ソケットの状態」を表示します。該当するソケット†に「Allied Telesis LA-PCM_V2 Ethernet Card」が表示されていることをご確認ください。



画面 4.4 ソケットの状態

4.3 リソースの確認

本製品が使用する I/O ベースアドレス、インタラプト (IRQ) などのリソースは、Windows95 によって自動的に設定されます。これらの値を確認するには「デバイスマネージャ」「ネットワークアダプタ」「Allied Telesis LA-PCM_V2 Ethernet Card」「プロパティ」「リソース」と進んでください。



画面 4.5 リソースの確認

† ソケット番号の表記はコンピュータの機種により異なり、「ソケット 0」「ソケット 1」と表記される場合もあります。

4.4 ネットワークの設定

次に、「コントロールパネル」の「ネットワーク」を起動し、使用するプロトコル、クライアントなどの設定を行います。詳細はネットワーク管理者にご確認ください。



画面 4.6 ネットワークの設定

5 ドライバーの削除と再インストール

本ドライバーのインストールを一旦完了するとその内容は保存され、次回からはPCカードスロットに本製品を挿入するだけで本製品を使用できます。

再びインストールを行う場合にはドライバーを一旦削除してから行います。ドライバーのインストールに失敗した場合も、この手順にしたがって間違えてインストールされたドライバーをまず削除したのち、再びインストール作業を行います。

5.1 ドライバーの削除

3

- (1) 「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」と進み、「ネットワークアダプタ」の下から項目「Allied Telesis LA-PCM_V2 Ethernet Card」を選択し、「削除(E)」ボタンをクリックしてください。



画面 5.1 ドライバーの削除

- (2) 下のダイアログが表示されたら、「OK」をクリックします。



画面 5.2 デバイス削除の確認

- (3) 「ネットワークアダプタ」のアイコンが消えていることをご確認ください。



画面 5.3 削除後のデバイスマネージャ

- (4) 「システムのプロパティ」の「閉じる」ボタンをクリックしてください。
- (5) コンピュータの電源を落とし、PC カードスロットから本製品を抜き出します。

5.2 再インストール

ドライバーを再インストールする手順は以下の通りです。

- (1) 本製品をPCカードスロットに挿入し、再びコンピュータの電源を入れます。
- (2) Windows95 が起動し、「新しいハードウェア」ダイアログが表示されます。
- (3) 「3 ドライバーのインストール」の手順3から再開します。

6 トラブルシューティング

この項ではドライバーのインストールに伴うトラブルの代表的な例と、その対処法について説明します。

(注) 以下の手順は、本製品をPCカードスロットに取り付けた状態で行ってください。

6.1 正常にインストールできない

4.1 項にしたがってインストールの確認を行った際に「Allied Telesis LA-PCM_V2 Ethernet Card」アイコンの表示が以下のようにになっている場合は、ドライバーのインストールに失敗していますので、ドライバーを一旦削除し、再インストールします。

「ネットワークアダプタ」の項目がない[†]
「その他のデバイス」「不明なデバイス」の下にアイコンが表示されている[†]
アイコンに「!」「?」「×」マークがある
「Allied Telesis LA-PCM_V2 Ethernet Card」が2つ以上ある

(手順)

- (1) 不正にインストールされた「Allied Telesis LA-PCM_V2 Ethernet Card」アイコンを選択し、「削除 (E)」ボタンをクリックしてください。
- (2) 「デバイス削除の確認」ダイアログが表示されます。「全ての設定から削除 (A)」を選択し、「OK」をクリックしてください。
- (3) 「5.1 ドライバーの削除」の手順3に進みます。

[†] この場合、以下のような操作を行ったことが考えられます。

ドライバーインストールの作業中に行われる netapi.dll などの Windows95 関連のファイルのインストールをキャンセルしてしまった。

以前に本製品のドライバーのインストールと削除を行ったことがあり、「5.2 再インストール」手順(2)の「新しいハードウェア」ダイアログで「ドライバをインストールしない (D)」を選択した。

6.2 PCMCIA コントローラが正しく表示されない

本製品のドライバーは、PCMCIA コントローラと協調して動作します。そのため、PCMCIA コントローラが正しくインストールされていない状況では、本製品のドライバーは動作することができません。

4.1 項にしたがってインストールの確認を行った際に「PCMCIA ソケット」の下に表示されるPCMCIA コントローラのアイコンに「？」、「!」、「×」のマークが付いている場合は、次の手順を実行してみてください[†]。

- (1) 「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」と進みます。
- (2) 「PCMCIAソケット」の下にあるPCMCIAコントローラを選択し、「削除(E)」をクリックしてください。
- (3) 「デバイス削除の確認」ダイアログが表示されます。「全ての設定から削除(A)」を選択し、「OK」をクリックしてください。
- (4) 「デバイスマネージャ」から「PCMCIAソケット」のアイコンが消えていることを確認します。
- (5) Windows95を終了し、コンピュータの電源を落とした後、本製品をPCカードスロットから取り外します。
- (6) 再びコンピュータに電源を投入します。「コントロールパネル」ウィンドウを表示し、「PCカード(PCMCIA)」アイコンが消えていることを確認します。
- (7) 「ハードウェア」アイコン(コントロールパネル)をダブルクリックしてください。「ハードウェアウィザード」が起動します。「次へ>」をクリックしてください。(「ハードウェアウィザード」の実行には数分の時間がかかります。)
- (8) 「はい(通常はこちらを選んでください)(Y)」を選択し、続く2つの質問に対して「次へ>」をクリックして進みます。最後に「完了」をクリックしてハードウェアウィザードを終了してください。
- (9) 続いて、「PCカード(PCMCIA)ウィザード」が起動します。「2 PCMCIA コントローラの有効化」の手順(3)から実行してください。

3

† 1 ソケットサービス/カードサービスに関連するデバイスの一部(例: PCMCIA Card Services)に常に「？」マークがつくものがありますがご使用には支障ありません。

6.3 リソース値重複の回避

前述の手順にしたがってドライバーの削除および再インストール作業を行っても、なおアイコンに「?」、「!」、「x」マークが付いている場合は、他の拡張アダプターとリソースの値が重複している可能性があります。

特に、Plug & Play に対応していない他の拡張アダプターを本製品とともに使用している場合は、その拡張アダプターが使用するリソース値を Windows95 に予め登録（「予約」と呼びます）し、その値が他の Plug & Play 対応デバイス（本製品を含む）によって使用されないように設定しておく、値の重複を回避できます。

3

リソース値を予約する手順

- (1) Plug & Play 非対応の拡張アダプターが使用するリソースの値（インタラプト (IRQ)、I/O ベースアドレス、メモリ、ダイレクトメモリアクセス (DMA)）を調べておきます。詳細は、その拡張アダプターのマニュアルをご覧ください。または、メーカーにお問い合わせください。
- (2) 「コントロールパネル」 「システム」 「デバイスマネージャ」 「コンピュータ」 「コンピュータのプロパティ」パネル 「リソースの予約」と進みます。
- (3) 該当する項目を選択し、「追加」をクリックします。画面の指示にしたがって予約するリソースの値を登録してください。

第4部

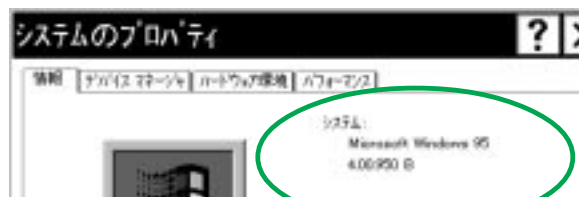
Windows95 Version B

第4部では、本製品のドライバーをWindows95 VersionB上にインストールする手順を説明します。

ご使用のWindows95のバージョンをご確認ください

初めに、ご使用のWindows95のバージョンを「システム」(コントロールパネル)で確認します。「スタート」「設定」「コントロールパネル」「システム」「情報」と進み、「システム：」の番号が"4.00.950 B"であればVersion Bです。(Windows95 Version Bは"OSR2"とも呼ばれています。)

"4.00.950"であればVersion950、"4.00.950a"であればVersion Aです。この場合は第3部「Windows95 Version950/A」をご覧ください。



Windows95 のバージョン表示 (VersionBの場合)

1 準備と確認

インストールを始める前に、以下のものをご用意ください。

1. LA-PCM-T V2 カード本体
他のハードウェア(メディアケーブルなど)はインストールの段階では特に必要ではありません。
2. コンピュータ (Windows95 Version B 搭載)
3. LA-PCM-T V2 ドライバーディスク (本製品付属)
ドライバーディスクはAT **互換機**/NEC PC98-NX用、PC-9800/PC-9821用の2枚が用意されています。ご使用のコンピュータに合わせてお使いください。
4. Windows95 のバックアップディスク (CD-ROM または フロッピーディスク)
(Windows95 を再インストールしたコンピュータをご使用の場合)



重要: ご使用のコンピュータのOSのバックアップCD-ROMをお持ちでない場合は、必ずフロッピーディスクにバックアップを取った後でドライバーのインストールを開始してください。

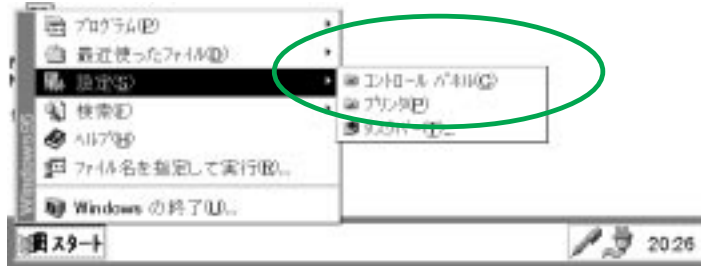


ここに挙げた手順は一例です。お客様の環境によっては、手順が若干異なることがあります。(本書に掲載した画面はAT互換機のもので、PC-9800シリーズの場合はディスクドライブ名などが異なります。)

2 PCMCIA コントローラの有効化

ドライバーをインストールする前に、以下の手順を実行してください^{†1}。この手続きにより、Windows95がPCカードを自動認識するための機能が有効化されます^{†2}。この時点では、まだ本製品をコンピュータに取り付けないでください。

- (1) コンピュータに電源を投入し、Windows95 を起動します。
- (2) 「スタート」をクリックし、「設定(S)」から「コントロールパネル(C)」を選択します。



画面 2.1 コントロールパネルの選択 (デスクトップ)

- (3) 「PC カード(PCMCIA)」アイコンをダブルクリックします。

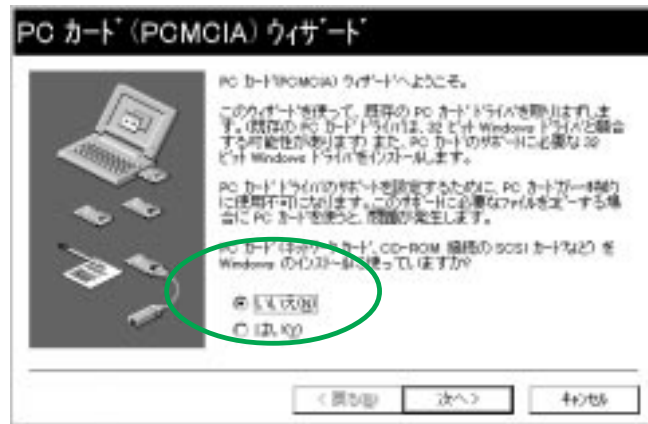


画面 2.2 「PC カード (PCMCIA)」アイコン

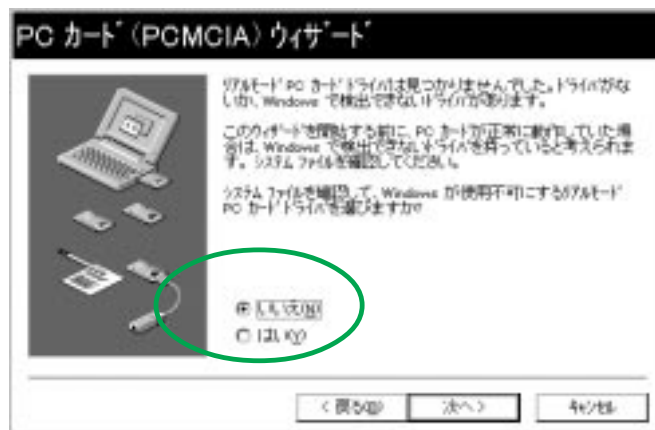
†1 ご使用のコンピュータが CardBus (32bit パスコントローラ) 対応のものである場合は本項の手順とは異なる手続きを必要とするモデルも多く存在しますので、必ずコンピュータのマニュアルでご確認ください。

†2 この手順は PC カードを初めて使用する際に 1 回だけ実行します。

- (4) 「PCカード(PCMCIA)ウィザード」が起動します[†]。
 「PCカードウィザード」は、2つの質問を行います。通常は、2つの質問のそれぞれに対して「いいえ (N)」を選択し、「次へ>」をクリックしてください。



画面2.3 PCカード (PCMCIA) ウィザード1



画面2.4 PCカード (PCMCIA) ウィザード2

[†] 以前にこの手順を実行したことがあればこのパネルは表示されず、「PCカード (PCMCIA)のプロパティ」が表示されます (4.2項参照)。また、コンピュータの機種によっては既にPCMCIAコントローラの有効化を終えた状態で出荷されているモデルもあり、この場合も同様に「PCカード (PCMCIA)のプロパティ」が表示されます。この場合は「PCカード (PCMCIA)のプロパティ」を閉じ、「3 ドライバーのインストール」に進んでください。

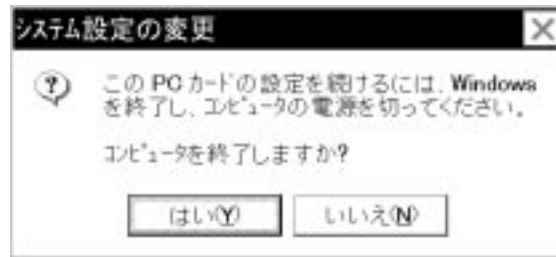
- (5) 「PCカードウィザード」が完了すると、次のダイアログが表示されますので、「完了」をクリックしてください。



画面 2.5 PC カード (PCMCIA) ウィザードの完了

4

- (6) 次のダイアログが表示されますので、「はい(Y)」をクリックしてください。Windows95 が終了したら、コンピュータの電源を切ります。



画面 2.6 「システム設定の変更」ダイアログ

以上でPCカードを使用する準備は整いました。引き続き、「3 ドライバーのインストール」へお進みください。

3 ドライバーのインストール

1. コンピュータの電源を入れ、Windows95 を起動します。
2. コンピュータのPCカードスロットに本製品を挿入します。

挿入の手順については「第2部 ハードウェアの設定」およびご使用のコンピュータのマニュアルを参照してください。

3. Windows95は本製品を自動的に検出し、「デバイスドライバウィザード」を起動します。LA-PCM-T V2ドライバーディスクをディスクドライブに挿入し、「次へ>」をクリックしてください。ドライバーの自動検索が始まります。



画面 3.1 デバイスドライバウィザード

4. 次のダイアログが表示されたら「完了」をクリックしてください^{†1}。



画面 3.2

^{†1} 自動検索を使わず、「場所の指定(O)...」ボタンを使ってディレクトリを直接指定することもできます。この場合はディレクトリ名として「¥windows.95」を指定してください。

- 4'-1. ご使用のコンピュータに初めてネットワークアダプターをインストールする場合は下のダイアログが表示されます。内容を読んだ上で「OK」をクリックしてください。



画面 3.3

- 4'-2. 続いて下のダイアログが表示されます^{†1}。ネットワーク管理者に確認の上、コンピュータ名、ワークグループ名^{†2}およびコンピュータの説明（省略可）を入力してください。



画面 3.4 ネットワークの設定

†1 このダイアログの内容をインストール後に変更する場合は「ネットワーク」(コントロールパネル)を起動し、「ユーザー情報」タブを選択してください。

†2 コンピュータ名およびワークグループ名の入力には15字以下の半角文字を使用します。詳細はWindows95のマニュアルおよびオンラインヘルプをご覧ください。

5. ドライバーおよび必要なWindows95ファイルがハードディスクにコピーされます。



画面 3.5 Windows95 ファイルのコピー

(参考)

ご使用のOSが再インストールされたものである場合は必要なWindows95ファイルをOSのバックアップディスクからコピーします。ディスクを要求するダイアログが表示されたら、以下のようにパスを指定してください。

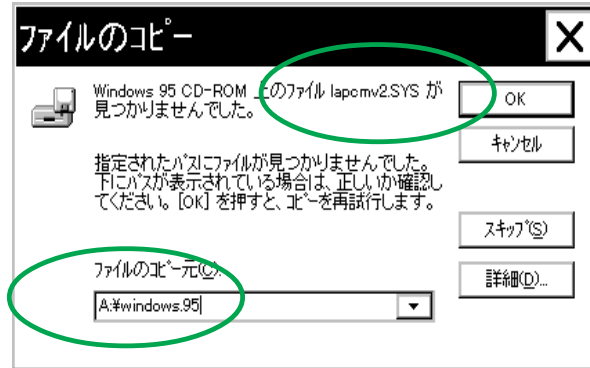
CD-ROMの場合

CD-ROMをドライブに挿入し、「E:¥WIN95」を入力してください。
(ここでは、CD-ROMドライブをE:と仮定します。)

フロッピーディスクの場合

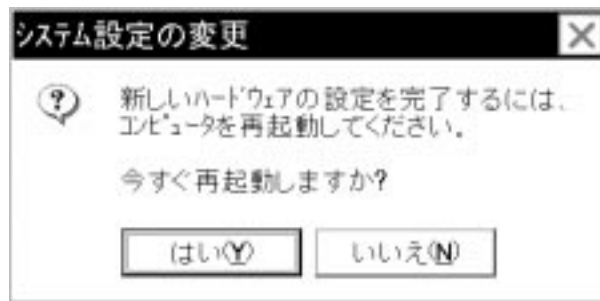
指示された番号のディスクをディスクドライブに入れ、「A:¥」を入力してください。
(ここではフロッピーディスクドライブをA:と仮定します。)

5. **(重要)** 場合によっては途中で次のダイアログが表示されることがあります。ファイル "lapcmv2.SYS" は Windows95 のマスターディスク上のファイルとして説明されていますが、実際にはLA-PCM-T V2ドライバーディスクの中に収められています。フロッピーディスクドライブにドライバーディスクが入っていることを確認の上、パス "A:¥windows.95" (または "A:¥") を指定し、「OK」をクリックしてください。



画面 3.6 LAPCMV2.SYS の要求 (例)

6. 「システム設定の変更」が表示されます^{†1}。「今すぐ再起動しますか?」という問いに対して、「はい(Y)」をクリックし、(フロッピーディスクを取り出して)コンピュータを再起動します。



画面 3.7 システム設定の変更

7. 以上でドライバーのインストールは終了です。引き続き、「4 インストールの確認とアダプターの設定」にお進みください。

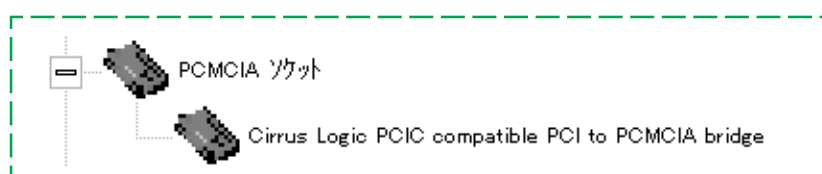
^{†1} ご使用のコンピュータに既に他のネットワークアダプターのドライバーをインストールしたことがある場合、このダイアログは表示されません。この場合も必ず再起動して本製品のドライバーを有効化してください。

4 インストールの確認とアダプターの設定

再起動したら、初めにドライバーのインストールが正常に行われていることを確認し、さらに必要な設定を行います。

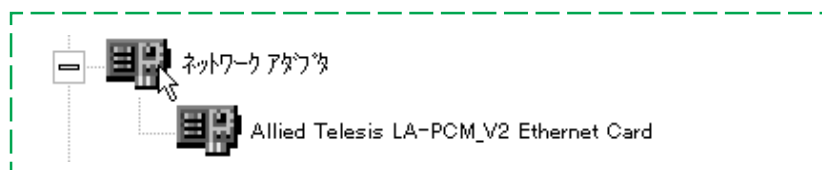
4.1 デバイスマネージャによる確認

初めに、「システム」(コントロールパネル)をダブルクリックし、「デバイスマネージャ」を表示します。インストールが正常に行われていれば「PCMCIA ソケット」[†]の下にご使用のコンピュータにインストールされているPCMCIAコントローラの名前が表示されます。



画面 4.1 PCMCIA コントローラ (例)

また「ネットワークアダプタ」の下に「Allied Telesis LA-PCM_V2 Ethernet Card」が表示されます。

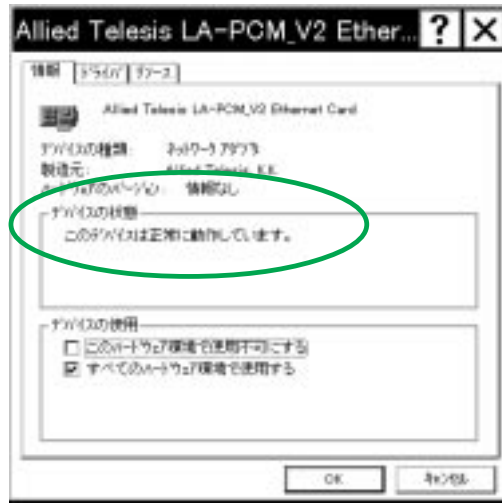


画面 4.2 ネットワークアダプタ

これらのアイコンに「?」「!」などのマークがついていたり、あるいはアイコンが「ネットワークアダプタ」の下ではなく「不明なデバイス」や「その他のデバイス」にある場合は、インストールに失敗します。詳しくは「6 トラブルシューティング」をご覧ください。

[†] PCMCIA コントローラの名称はご使用のコンピュータにより異なります。また、ご使用のコンピュータがCardBus対応モデルであり、かつPCMCIAコントローラが16bit/32bit共用のタイプである場合、PCMCIA コントローラは同じ名称が2列以上表示されます。

次に、「Allied Telesis LA-PCM_V2 Ethernet Card」を選択（反転表示）し、「プロパティ」「情報」「デバイスの状態」と進みます。「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることをご確認ください。



画面 4.3 デバイスの状態

(参考)「ドライバ」タブを選択し、ドライバーに関する情報を表示した場合、「このデバイスにはドライバファイルが必要でないか、または組み込まれていません。」というメッセージが出ることがありますが、問題ありません。



画面 4.4 「ドライバ」タブ

4.2 PCカード (PCMCIA) による確認

次に、「PCカード (PCMCIA)」（コントロールパネル）をダブルクリックします。「ソケットの状態」を表示すると該当するソケット[†]に「Allied Telesis LA-PCM_V2 Ethernet Card」が表示されていることを確認します。



画面 4.5 ソケットの状態

4.3 リソースの確認

本製品が使用する I/O ベースアドレス、インタラプト (IRQ) などのリソースは、Windows95 によって自動的に設定されます。これらの値を確認するには「デバイスマネージャ」 「ネットワークアダプタ」 「Allied Telesis LA-PCM_V2 Ethernet Card」 「プロパティ」 「リソース」と進んでください。



画面 4.6 リソースの確認

† ソケット番号の表記はコンピュータの機種により異なり、「ソケット 0」「ソケット 1」と表記される場合もあります。

4.4 ネットワークの設定

次に、「コントロールパネル」の「ネットワーク」を起動し、使用するプロトコル、クライアントなどの設定を行います。詳細はネットワーク管理者にご確認ください。



画面 4.7 ネットワークの設定

5 ドライバーの削除と再インストール

本ドライバーのインストールを一旦完了するとその内容は保存されますので、次回からはPCカードスロットに本製品を挿入するだけで本製品を使用できます。

再びインストールを行う場合にはドライバーを一旦削除してから行います。ドライバーのインストールに失敗した場合も、この手順にしたがって間違ってインストールされたドライバーをまず削除し、再びインストール作業を行います。

5.1 ドライバーの削除

- (1) 「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」と進み、「ネットワークアダプタ」の下から項目「Allied Telesis LA-PCM_V2 Ethernet Card」を選択し、「削除(E)」ボタンをクリックしてください。



画面 5.1 ドライバーの削除

- (2) 下のダイアログが表示されたら、「OK」をクリックします。



画面 5.2 デバイス削除の確認

- (3) 「ネットワークアダプタ」のアイコンが消えていることをご確認ください。



画面 5.3 削除後のデバイスマネージャ

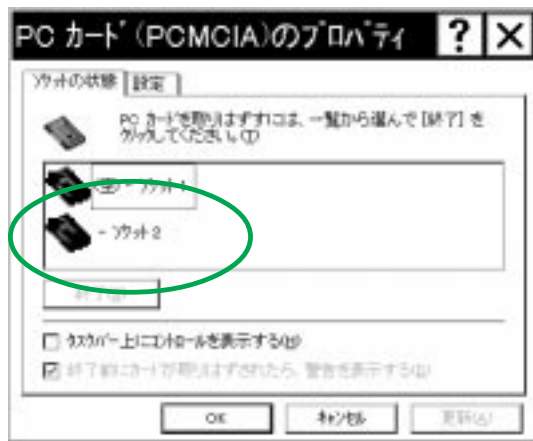
4

- (4) 「システムのプロパティ」の「閉じる」ボタンをクリックしてください。
 (5) タスクバー（画面右下）のPCカードアイコンをダブルクリックします。



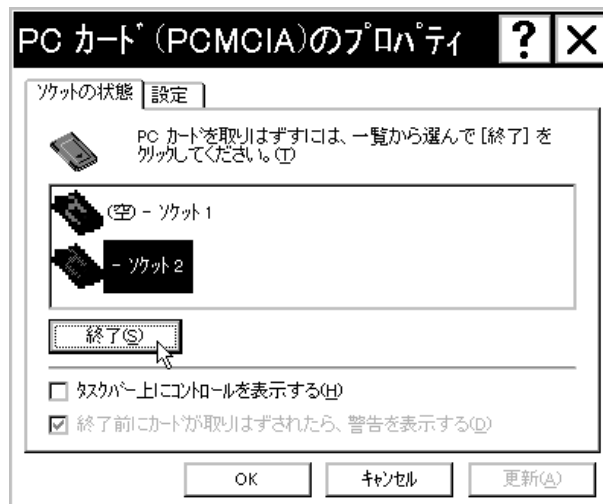
画面 5.4 PCカードアイコン

「ソケットの状態」タブが表示されます。本製品が挿入されていたソケットの表記が「-」（画面では「-ソケット2」）となっていることを確認してください。



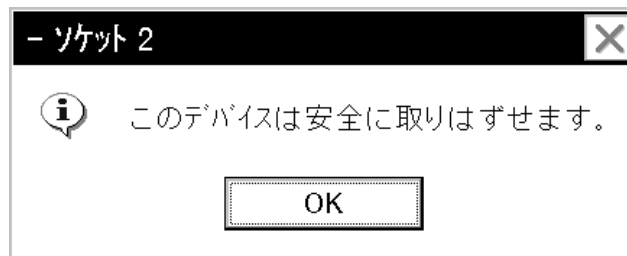
画面 5.5 デバイス削除後の「ソケットの状態」

- (6) 該当するソケット（画面では「-ソケット2」と表記）を選択（反転表示）させると「終了」ボタンが有効（アクティブ）になりますので、クリックします。



画面 5.6 デバイス削除後の「ソケットの状態」(2)

- (7) 下のダイアログが表示されます。「OK」をクリックします。



画面 5.7

† 本文は「削除」実行後に初めて「ソケットの状態」タブを開く場合について記述しています。「削除」実行前に「ソケットの状態」画面を開いておいた場合は、最初に表示されたデバイス名 "Allied Telesis LA-PCM_V2 Ethernet Card" が「削除」実行後も変わらず表示されます。この場合も必ず手順(6)以降の手続きを実行してください。(本文中「-ソケット1」を「Allied Telesis LA-PCM_V2 Ethernet Card」に置き換えてください。)

- (8) ソケットから本製品を抜きます。
- (9) 「ソケットの状態」で、スロットに「空」と表記されていることを確認してください。



画面 5.8

- (10) タスクバー上で PC カードアイコンが消えていることもご確認ください。



画面 5.9 タスクバー

- (11) 以上で削除の手続きは終了です。コンピュータの電源を落とし、PC カードスロットから本製品を抜き出してください。

5.2 再インストール

ドライバーを再インストールする手順は以下の通りです。

- (1) 本製品をPCカードスロットに挿入し、再びコンピュータの電源を入れます。
- (2) Windows95 が起動し、「デバイスドライバウィザード」が起動します。
- (3) 「3 ドライバーのインストール」の手順3 から再開します。

6 トラブルシューティング

この項ではドライバーのインストールに伴うトラブルの代表的な例と、その対処法について説明します。

(注) 以下の手順は、本製品をPCカードスロットに取り付けた状態で行ってください。

6.1 正常にインストールできない

4.1 項にしたがってインストールの確認を行った際に「Allied Telesis LA-PCM_V2 Ethernet Card」アイコンの表示が以下になっている場合は、ドライバーのインストールに失敗していますので、ドライバーを一旦削除し、再インストールします。

「ネットワークアダプタ」の項目がない^{†1}

「その他のデバイス」「不明なデバイス」の下にアイコンが表示されている^{†1}

アイコンに「!」「?」マーク^{†2}がある

「Allied Telesis LA-PCM_V2 Ethernet Card」が2つ以上ある

(手順)

- (1) 不正にインストールされた「Allied Telesis LA-PCM_V2 Ethernet Card」アイコンを選択し、「削除(E)」ボタンをクリックしてください。
- (2) 「デバイス削除の確認」ダイアログが表示されます。「全ての設定から削除(A)」を選択し、「OK」をクリックしてください。
- (3) 「5.1 ドライバーの削除」の手順3に進みます。

†1 この場合、以下のような操作を行ったことが考えられます。

ドライバーインストールの作業中に行われる netapi.dll などの Windows95 関連のファイルのインストールをキャンセルしてしまった。

以前に本製品のドライバーのインストールと削除を行ったことがあり、「5.2 再インストール」手順(2)の「新しいハードウェア」ダイアログで「ドライバをインストールしない(D)」を選択した。

†2 「×」マークがある場合はインストールの失敗ではなく、デバイスマネージャでデバイスを「使用不可」に設定しています。詳細は6.2項をご覧ください。

6.2 アイコンに「×」マークが付いている

デバイスマネージャで「Allied Telesis LA-PCM_V2 Ethernet Card」アイコンに「×」マークがある場合は「デバイスの使用不可」に設定されています。以下の手順にしたがって使用許可の状態を切り替えると本製品を使用できるようになります。

1. 「Allied Telesis LA-PCM_V2 Ethernet Card」を選択（反転表示）し、「プロパティ」をクリックし、「情報」タブを表示します。
2. 「このハードウェア環境で使用不可にする」のチェックを外してください。



画面 6.1 デバイスの使用許可の設定

6.3 PCMCIA コントローラが正しく表示されない

本製品のドライバーは、PCMCIA コントローラと協調して動作します。そのため、PCMCIA コントローラが正しくインストールされていない^{†1}状況では、本製品のドライバーは動作することができません^{†2}。

4.1 項にしたがってインストールの確認を行った際に「PCMCIA ソケット」の下に表示される PCMCIA コントローラのアイコンに「？」、「！」のマークが付いている場合は、次の手順を実行してみてください。

- (1) 「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」と進みます。
- (2) 「PCMCIA ソケット」の下にある PCMCIA コントローラを選択し、「削除(E)」をクリックしてください。
- (3) 「デバイス削除の確認」ダイアログが表示されます。「全ての設定から削除(A)」を選択し、「OK」をクリックしてください。
- (4) 「デバイスマネージャ」から「PCMCIA ソケット」のアイコンが消えていることを確認します。
- (5) Windows95を終了し、コンピュータの電源を落とした後、本製品を PC カードスロットから取り外します。
- (6) 再びコンピュータに電源を投入します。「コントロールパネル」ウィンドウを表示し、「PC カード(PCMCIA)」アイコンが消えていることを確認します。
- (7) 「ハードウェア」アイコン(コントロールパネル)をダブルクリックしてください。「ハードウェアウィザード」が起動します。「次へ>」をクリックしてください。(「ハードウェアウィザード」の実行には数分の時間がかかります。)
- (8) 「はい(通常はこちらを選んでください)(Y)」を選択し、続く2つの質問に対して「次へ>」をクリックして進みます。最後に「完了」をクリックしてハードウェアウィザードを終了してください。
- (9) 続いて、「PC カード(PCMCIA)ウィザード」が起動します。「2 PCMCIA コントローラの有効化」の手順(3)から実行してください。

†1 ソケットサービス/カードサービスに関連するデバイスの一部(例: PCMCIA Card Services)に常に「？」マークがつくものがありますがご使用には支障ありません。

†2 ご使用のコンピュータが CardBus 対応のモデルである場合、使用する PC カードに応じて 2 種類(16bit/32bit)の PCMCIA コントローラを切り替えなければならないものがありますのでご注意ください。詳細はご使用のコンピュータのマニュアルでご確認ください。

6.4 リソース値重複の回避

前述の手順にしたがってドライバーの削除および再インストール作業を行っても、なおアイコンに「？」、「！」マークが付いている場合は、他の拡張アダプターとリソースの値が重複している可能性があります。

特に、Plug & Play に対応していない他の拡張アダプターを本製品とともに使用している場合は、その拡張アダプターが使用するリソース値を Windows95 に予め登録（「予約」と呼びます）し、その値が他の Plug & Play 対応デバイス（本製品を含む）によって使用されないようにしておくこと、値の重複を回避できます。

リソース値を予約する手順

- (1) Plug & Play 非対応の拡張アダプターが使用するリソースの値（インタラプト (IRQ)、I/O ベースアドレス、メモリ、ダイレクトメモリアクセス (DMA)）を調べておきます。詳細は、その拡張アダプターのマニュアルをご覧ください。または、メーカーにお問い合わせください。
- (2) 「コントロールパネル」 「システム」 「デバイスマネージャ」 「コンピュータ」 「コンピュータのプロパティ」パネル 「リソースの予約」と進みます。
- (3) 該当する項目を選択し、「追加」をクリックします。画面の指示にしたがって予約するリソースの値を登録してください。

第5部

Windows NT Ver. 3.51

第5部では、本製品のドライバーをWindows NT Ver. 3.51上にインストールする手順を説明します。

ドライバーは以下のディレクトリに格納されています。

PC-9800/PC-9821	¥windows.nt¥351
AT 互換機 /PC98-NX	¥windows.nt¥351

1 準備と確認

本製品のインストールを始める前に、以下のことをご確認ください。
各操作・設定の手順についてはWindows NTのマニュアル・ヘルプをご覧ください。



Windows NTのハードウェア互換性リスト(Windows NTパッケージに同梱されています)に挙げられていないコンピュータ機種で本製品をご使用になる場合は、お客様の責任においてご使用ください。それらのコンピュータ機種で本製品をご使用になる場合は、ユーザーサポートの対象外とさせていただきますので予めご了承ください。



NEC PC-9800、PC-9821、PC98-NXにインストールされたWindows NTのもとで本製品をご使用になる場合、NECによって保証されていないインストール環境でのご使用は、お客様の責任において行ってください。それらの環境で本製品をご使用になる場合は、ユーザーサポートの対象外とさせていただきますので予めご了承ください。



本マニュアルに記載した内容は一例であり、お客様の使用するコンピュータやネットワーク環境によって、手順や表示画面が異なることがあります。予めご了承ください。



本製品のインストールをWindows NTのインストールと同時に行うことは避けてください。**必ず、Windows NTのインストールを完了したあとで、本製品のインストールを行ってください。**Windows NTはPlug & Playをサポートしていないため、Windows NTと本製品のインストールを同時に行うと、Windows NTのインストール中に本製品が使用するハードウェアリソースが他のデバイスと重複するおそれがあり、重複の回避に手間取ることがあります。



Windows NTでは**活線挿抜(コンピュータの電源を入れたままでカードの抜き挿しを行うこと)はできません**。本製品の挿抜を行う際には必ずコンピュータの電源がOFFになっていることをご確認ください。誤って活線挿抜を行った場合に起こった障害についてはユーザーサポートの対象外とさせていただきますので予めご了承ください。

本マニュアルではWindows NT Ver. 3.51 Workstation を用いて説明します

2 ドライバーのインストール

それでは、インストールを始めます。ここでは、「ネットワークアダプター用ドライバーを含むネットワーク環境が全くインストールされていない」場合の^{†1}インストール手順について説明します。また、Windows NTが要求する問い合わせに対して、基本的にはデフォルトで答えると仮定しています。

2.1 準備

用意するもの

1. LA-PCM-T V2 カード本体・メディアケーブル等
2. コンピュータ (Windows NT 3.51 インストール済み)
3. Windows NT のマスターディスク (CD-ROM または フロッピーディスク)
4. LA-PCM-T V2 ドライバーディスク^{†2} (本製品付属)

インストールの前に

1. コンピュータの電源をオフにし、本製品をコンピュータのPCカードスロットに挿入します^{†3}。
2. 本製品をネットワークに接続します^{†3}。

†1 「Windows NT ネットワークのインストール」で「まだネットワークに接続しない (D)」を選択した場合に相当します。

†2 ドライバーディスクは「AT 互換機・PC98-NX 用」「PC-9800・PC-9821 用」の2種類が用意されていますので、ご使用のコンピュータに合ったものをご使用ください。また、ドライバーは常に最新のものをご使用ください。最新のドライバーの入手方法は「付録S」の「最新ドライバーソフトウェアの入手方法」をご覧ください。

†3 詳細は本マニュアル「第2部 ハードウェアの設置」をご覧ください。

2.2 リソースの確認

2.2.1 概要

Windows NT は Plug & Play をサポートしていないため、本製品が使用するリソースの値をドライバーのインストール時に設定する必要があります。そのため、ドライバーをインストールする前にリソースの空き状況を調べる必要があります^{†1}。

本製品のドライバーに組み込まれているリソースの工場出荷時の値(2.2.2項参照)が、他のデバイスによって既に使用されている場合は重複を避けるため本製品の使用する値を変更します。(設定はドライバーのインストール時に表示される設定ダイアログで行います。)そのため、ドライバーをインストールする前に値が重複していないかを確認し、重複している場合は空いている値を調べてください。

リソースの状況を調べるには、コンピュータメーカーで予め定めてあるデバイスについてはコンピュータのマニュアルをご覧ください。また、本製品を含む拡張デバイスが追加されているコンピュータについては「Windows NT 診断プログラム」(2.2.3項参照)を使用するとそれらの拡張デバイスを含む、リソースの割り当て状況を確認できます。

5

2.2.2 リソースの値

工場出荷時の値および設定可能な値の範囲は以下の通りです。

I/O ベースアドレス

初期設定値 0x300

他の設定可能値 0x200、0x220、0x240、0x260、0x280、0x2A0、0x2C0、0x2E0、
0x300、0x320、0x340、0x360、0x380、0x3A0、0x3C0、0x3E0

IRQ (AT 互換機 / PC98-NX)

初期設定値 10(A)

他の設定可能値 3, 4, 5, 7, 9, 10(A), 11(B), 15(F)

IRQ (PC-9800/PC-9821)

初期設定値 5

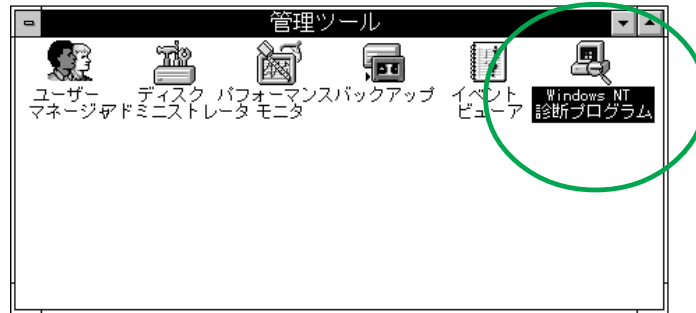
他の設定可能値 3, 5, 6, 10(A), 12(C)

^{†1} コンピュータに予め組み込まれているデバイスの中には「Windows NT 診断プログラム」上に表示されないものがありますので、必ずコンピュータのマニュアルと「Windows NT 診断プログラム」の2つを用いて確認を行ってください。

2.2.3 Windows NT 診断プログラムの使用方法

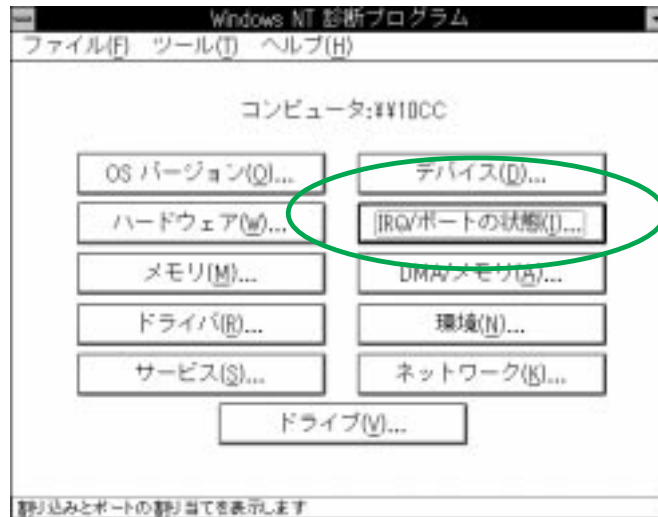
注:ここではWindows NT Ver.3.51 Workstation 搭載のAT互換機を用いて説明します。

1. 「プログラムマネージャ」「管理ツール」「Windows NT 診断プログラム」と進み、「Windows NT 診断プログラム」を起動します。



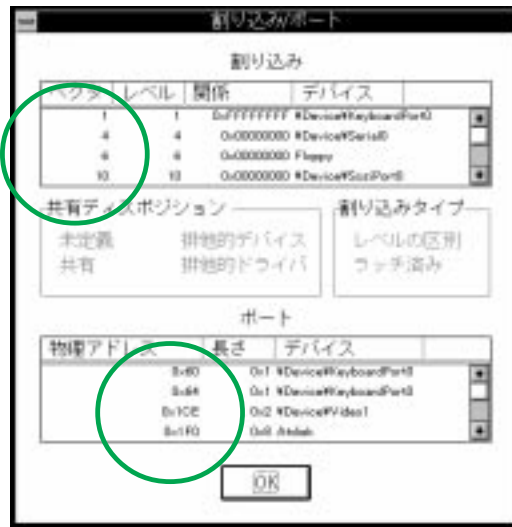
画面 2.1 Windows NT 診断プログラムの起動

2. 「IRQ/ ポートの状態」を選択します。



画面 2.2 IRQ/ ポートの状態

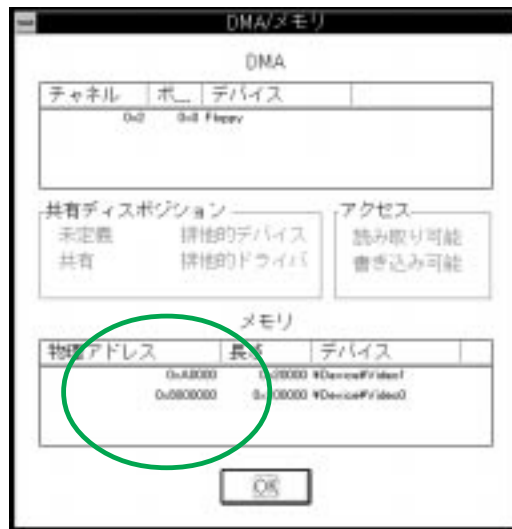
- 「割り込み / ポート」画面が表示されます。それぞれの値の空き状況を確認してください。



画面 2.3 リソースの表示 (IRQ, I/O Base Address)

5

- 次に、メモリの空き状況を調べます。手順 2 に戻り、「DMA / メモリ ...」を選択します。下の画面が表示されます。



画面 2.4 リソースの表示 (メモリ)

- Windows NT 診断プログラムを終了します。

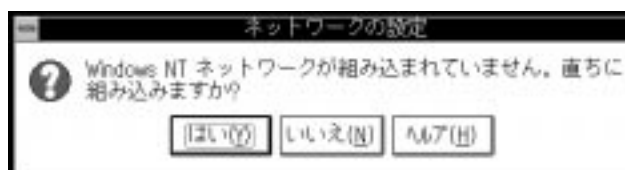
3 ドライバーのインストール

1. 「コントロールパネル」の「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。



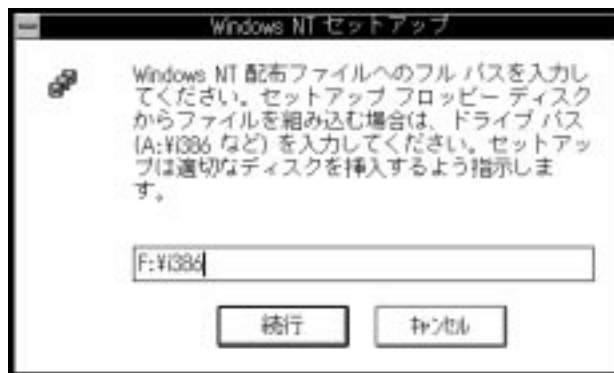
画面 3.1 ネットワーク (コントロールパネル)

2. 「直ちにネットワークを組み込みますか？」の問いに対して、「はい」をクリックしてください。



画面 3.2

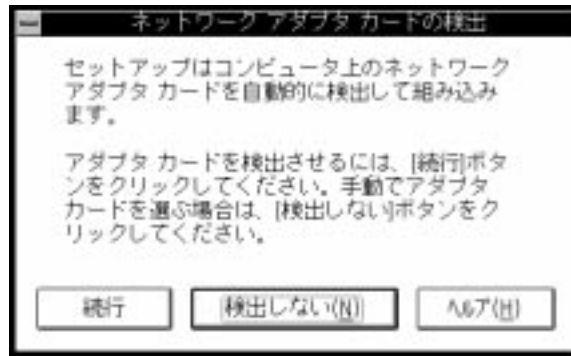
3. 「Windows NT セットアップ」が起動します。Windows NT の CD-ROM をドライブに挿入し、Windows NT の配布ファイルへのフルパス (AT 互換機 / PC98-NX では「I386」、PC-9800/PC-9821 では「PC98」となります) を入力します。(ここでは、CD-ROM ドライブを F: と仮定します。)



画面 3.3

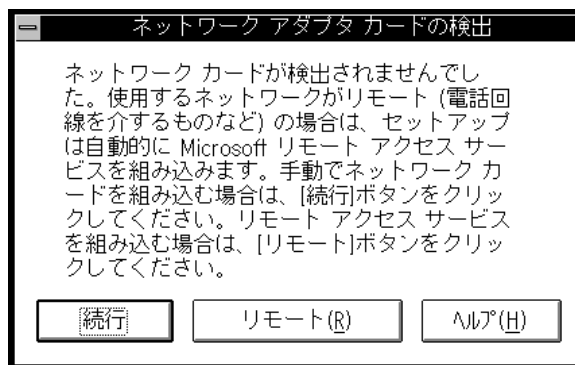
- † ネットワーク環境が既にインストールされている場合はこのダイアログは表示されず、「ネットワークの設定」が起動します。この場合は手順(10)にお進みください。本製品のみのインストールが始まります。

4. 「検出しない」をクリックしてください。



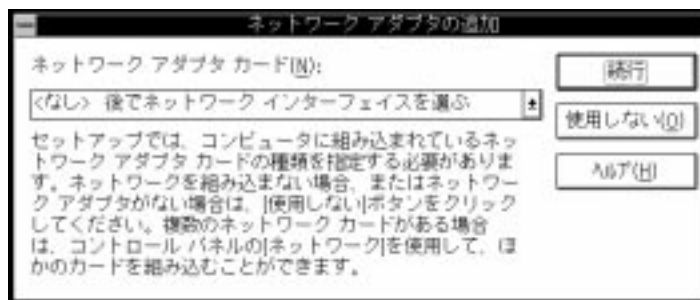
画面 3.4 ネットワークアダプタカードの検出

5. 「続行」をクリックしてください。



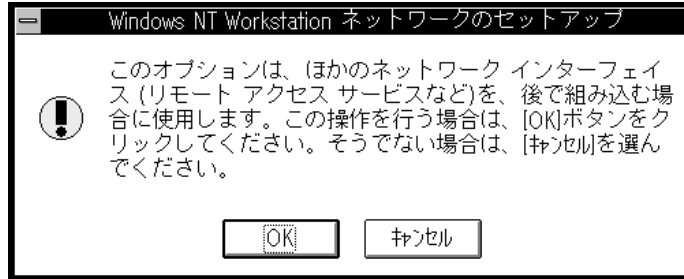
画面 3.5 ネットワークアダプタカードの検出

6. 「ネットワークアダプタの追加」ダイアログが表示されます。「ネットワークアダプタカード(N):」リストボックスで最下行の「<なし>後でネットワーク インターフェイスを選ぶ」を選択し、「続行」をクリックします。



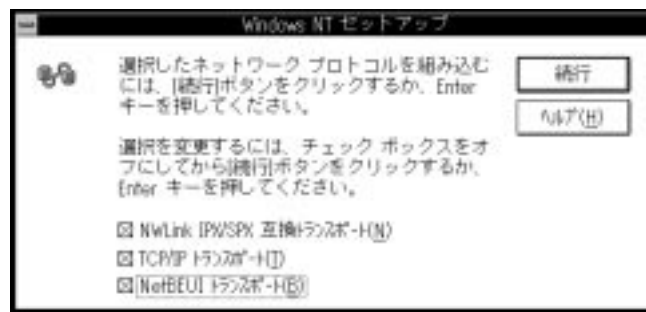
画面 3.6

7. 「OK」をクリックします。



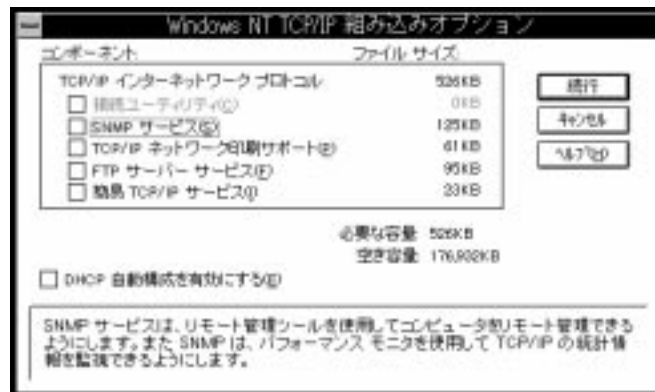
画面 3.7

8. ネットワークで使用されているプロトコルをチェックして「続行」をクリックします。お客様のネットワークでどのようなプロトコルが使用されているかは、システム管理者にご相談ください。画面 3.8 はすべての項目をチェックした例です。



画面 3.8 プロトコルの選択

9. 手順8でTCP/IPを選択した場合はTCP/IPオプションに関する設定画面が表示されます。お客様の環境に合わせて適宜設定し、「続行」をクリックしてください。



画面 3.9 TCP/IP オプションの選択

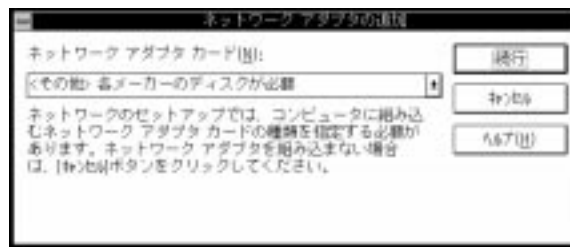
- 「ネットワークの設定」ダイアログが表示されます。「アダプタカードの追加(P)」をクリックしてください。



画面 3.10 アダプタカードの追加

- 「ネットワークアダプタの追加」ダイアログが表示されます。「ネットワークアダプタカード(N)」リストから最下行の「<その他>各メーカーのディスクが必要」を選択し、「続行」をクリックします。

5



画面 3.11 ネットワークアダプタの追加

- LA-PCM-T V2 ドライバードискをフロッピーディスクドライブに挿入し、パス「¥windows.nt¥351」を入力してください。(ここでは、フロッピーディスクドライブを A:と仮定します。)



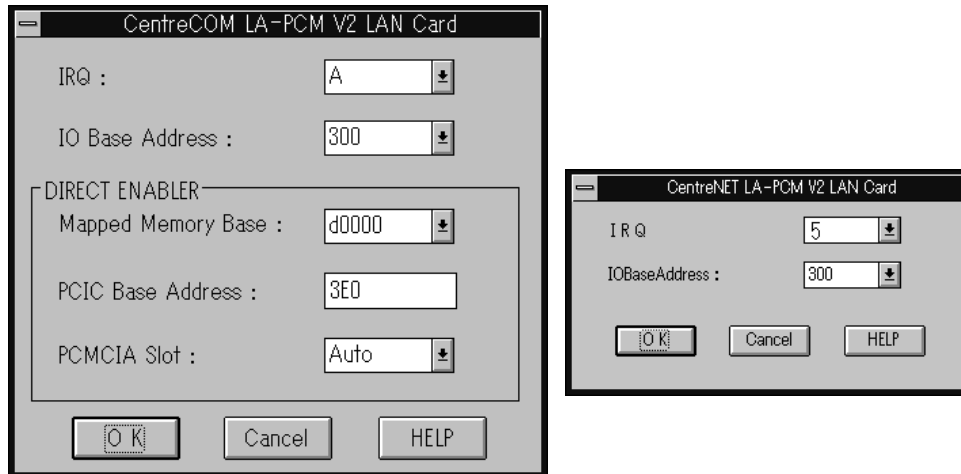
画面 3.12 パスの入力

13. 「CentreCOM LA-PCM V2 Adapter」がアクティブになっていることを確認して、「OK」をクリックしてください。



画面 3.13

14. 続いて本製品の設定画面が表示されます(ご使用のパソコン機種により表示されるダイアログが異なります。AT互換機/PC98-NXの場合は左、PC-9800/PC-9821の場合は右をご覧ください)。適切な設定値を選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。



画面 3.14 LA-PCM-T V2 の設定 (左 : AT 互換機 /PC98-NX、右 : PC-9800/PC-9821)

1. IRQ、IOBaseAddress

これら 2 項目は他のデバイスと重複しない適切な数値を選択してください。

2. Direct Enabler[†]

AT 互換機 / PC98-NX をご使用の場合、「Direct Enabler」に関する3項目について設定します。基本的に、表示されているデフォルト値のまま変更は必要ありませんが、本アダプターがうまく動作しないとき、下記の手順にしたがって設定を行ってください。

2-a. Mapped Memory Base

他のデバイスと重複しない適切な数値を選択してください。

2-b. PCIC Base Address

ホスト PCMCIA コントローラアドレスの値を指定します。デフォルト値は 3E0h です。一般的に、コンピュータのホスト PCMCIA コントローラアドレスの値は 3E0h (PCMCIA Release2.1 規格による推奨値) に設定されていますが、コンピュータの機種によっては異なる値を使用しているものもありますので、必ずご使用のコンピュータのマニュアルでご確認ください。

2-c. PCMCIA Slot

本製品を挿入している PC カードスロットの番号 (1 または 2) を指定します。デフォルトは Auto (自動選択) ですが、できる限り番号で指定してください。 スロットの番号は「1」「2」で指定しますが、ご使用のコンピュータが異なる表記を用いている場合もあります。一般的には「0」「1」で表記されている場合は「0」「1」_上、「1」「2」_上、「上」「下」で表記されている場合は「上」「2」_下、「1」と置き換えればよいようですが、機種によっては逆の場合もありますので、必ずコンピュータのマニュアルでご確認ください。

† **本ドライバーには**、PCMCIA.SYS を使用せず、直接 PCMCIA コントローラ (PCIC) を制御して本製品を活性化する機能である Direct Enabler が組み込まれています。Direct Enabler は、本製品を活性化するために PCIC Base Address を使用します。大抵のコンピュータの PCIC Base Address は「PCMCIA Release2.1 規格」の推奨値である「3E0h」となっています。しかしながら、推奨値ではないコンピュータも存在し、これらのコンピュータでは Direct Enabler にコンピュータが使用している PCIC Base Address の値を設定してやらなければなりません。

15. 「バインド」をクリックしてください。



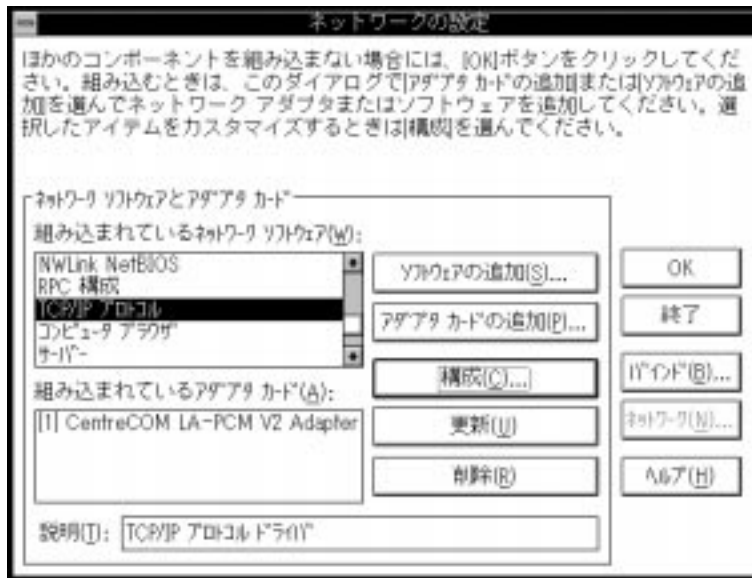
画面 3.15

16. 使用するプロトコルスタックを選択し、「OK」をクリックしてください。プロトコルスタックが本製品にバインドされます。



画面 3.16 プロトコルの選択

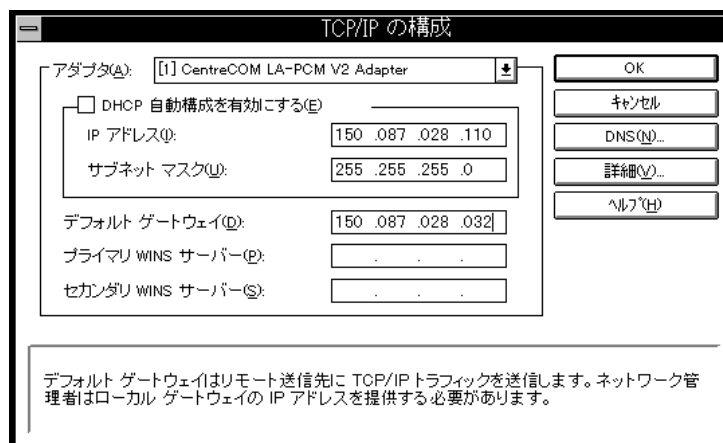
17. 続いてソフトウェアの設定を行います。ここではTCP/IPの場合について説明します。「TCP/IP プロトコル」を選択し、「構成(C)...」をクリックしてください。



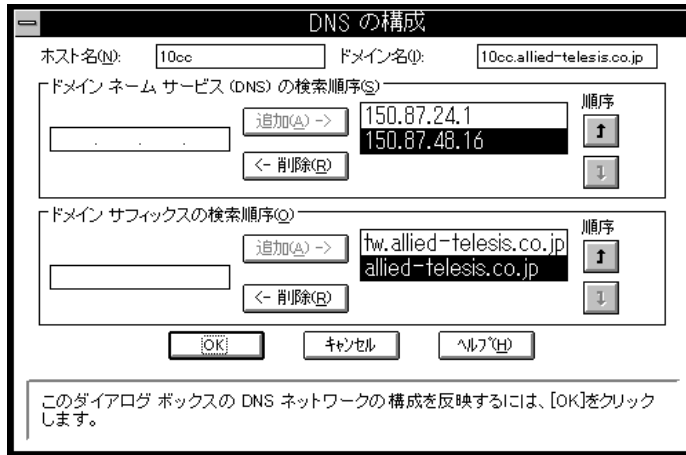
画面 3.17 TCP/IP のカスタマイズ

5

18. TCP/IPの設定を行います。設定内容についてはネットワーク管理者にご確認ください。以下の画面は一例です。設定を終えたら「OK」をクリックしてください。



画面 3.18 TCP/IP の構成 (起動時)



画面 3.19 DNS の構成 (画面 3.18 で「DNS」をクリック)



画面 3.20 TCP/IP の詳細設定 (画面 3.18 で「詳細」をクリック)

19. 必要に応じて他のネットワークソフトウェアを追加またはカスタマイズし、「終了」をクリックします。(詳細はネットワーク管理者にご確認ください。)



画面 3.21 ネットワークセットアップの終了

場合によってはここで「ネットワークセットアップの警告」ダイアログが表示されます。この場合は次のように設定し、手順 20 へ進みます。

1. 「ネットワークセットアップの警告」で「OK」をクリック
2. 「ネットワークの誤動作」で「いいえ」をクリック
3. 「ドメイン/ワークグループの設定」で参加するドメインまたはワークグループを設定し(詳細はシステム管理者にご確認ください)「OK」をクリック

20. 下の画面が表示されたらフロッピーディスクをディスクドライブから取りだし、「コンピュータの再起動」アイコンをクリックして、再起動します。これで設定内容が有効化されます。

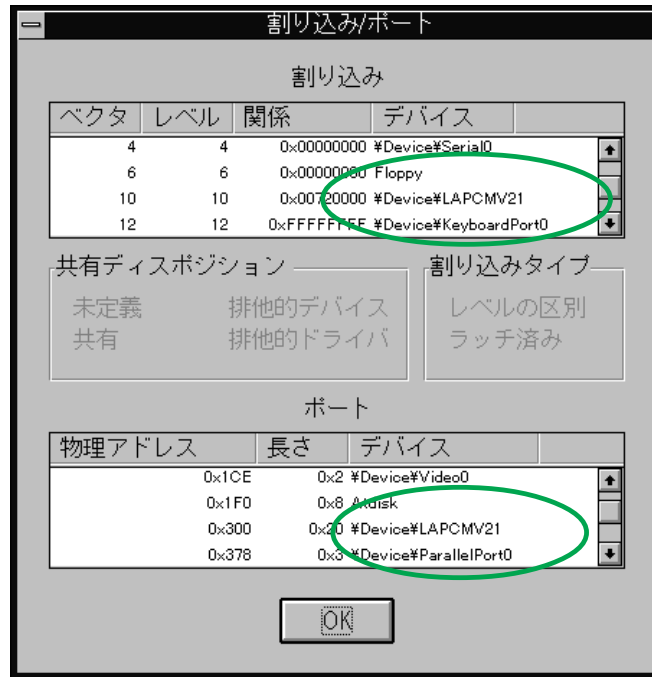


画面 3.22

4 インストール後

4.1 リソース値の確認

コンピュータを再起動すると、本製品にリソースが割り当てられ、使用可能な状態となります。Windows NT 診断プログラムでデバイス「LAPCMV2*」(*は番号)にインストール時に指定した値が割り当てられていることを確認してください。(ただし、表示されるのは「割り込み/ポート」のみで、「メモリ」には表示されませんのでご了承ください。)



画面 4.1 割り込み/ポート

4.2 本製品を使用しないとき

ドライバーのインストール後、一時的に本製品を使用しないとき (= PC カードスロットに本製品が挿入されていない、またはネットワークケーブルをメディアケーブルから外している場合など) はドライバーをアンロード (バインドしない) してください。ドライバーがロードされたまま前述のことを行った場合、Windows NT はこれらの現象をネットワークのエラーとして検出し、イベントビューアによる警告が表示されるようになります。この現象はドライバーをアンロードすることによって回避できます。

手順

- (1) 「コントロールパネル」 「ネットワーク」 「ネットワークの設定」 「バインド(B)..」と進みます (画面 3.15 ~ 3.16 参照)。
- (2) 本製品に関する項目全てについて、左端の電球のマークをクリックして電球が消えている状態にしてください。

5 ドライバーの削除と再インストール

本製品の登録内容を削除し、再びインストールする手順は以下のとおりです。ただし、ドライバーを削除しても、本製品にバインドしていたプロトコルやサービスは削除されません（一部の設定値、例えばTCP/IPにおけるIPアドレスなどは削除されます）。したがって、本製品を再インストールすれば、再びそれらのプロトコル、サービスなどを使用できます。

5.1 ドライバーの削除

1. 「プログラムマネージャ」「コントロールパネル」「ネットワーク」とたどって行き、「ネットワークの設定」ダイアログを表示します。「組み込まれているアダプタカード」リストから「CentreCOM LA-PCM V2 Adapter」を選択し、「削除」をクリックします。



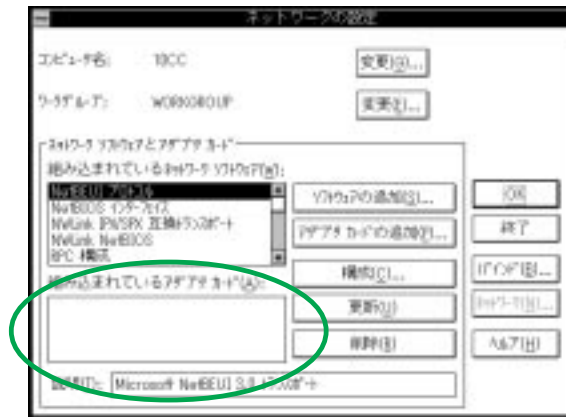
画面 5.1

2. 「はい」をクリックします。



画面 5.2

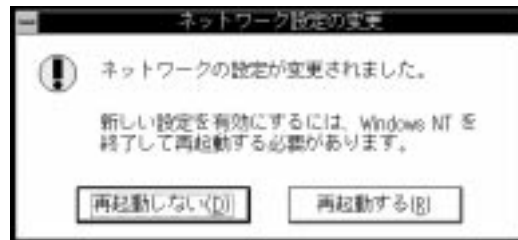
3. 「組み込まれているアダプタカード」から「CentreCOM LA-PCM V2 Adapter」が消えていることを確認して「OK」をクリックします。



画面 5.3

4. 「再起動する」をクリックして、(フロッピーディスクが入っている場合は取り出して) コンピュータを再起動します。

5



画面 5.5

5.2 再インストール

終了後、再びドライバーのインストールを行う場合はネットワーク(コントロールパネル)を起動し、「アダプタカードの追加..」をクリックしてください。(「3. ドライバーのインストール」の手順 10 から再開することになります。)

第6部

Windows NT Ver. 4.0

第6部では、本製品のドライバーをWindows NT Ver. 4.0上にインストールする手順を説明します。

1 準備と確認

本製品のインストールを始める前に、以下のことをご確認ください。
各操作・設定の手順についてはWindows NTのマニュアル・ヘルプをご覧ください。



Windows NTのハードウェア互換性リスト(Windows NTパッケージに同梱されています)に挙げられていないコンピュータ機種で本製品をご使用になる場合は、お客様の責任においてご使用ください。それらのコンピュータ機種で本製品をご使用になる場合は、ユーザーサポートの対象外とさせていただきますので予めご了承ください。



NEC PC-9800、PC-9821、PC98-NXにインストールされたWindows NTのもとで本製品をご使用になる場合、NECによって保証されていないインストール環境でのご使用は、お客様の責任において行ってください。それらの環境で本製品をご使用になる場合は、ユーザーサポートの対象外とさせていただきますので予めご了承ください。



本マニュアルに記載した内容は一例であり、お客様の使用するコンピュータやネットワーク環境によって、手順や表示画面が異なることがあります。予めご了承ください。



本製品のインストールをWindows NTのインストールと同時に行うことは避けてください。**必ず、Windows NTのインストールを完了したあとで、本製品のインストールを行ってください。**Windows NTはPlug & Playをサポートしていないため、Windows NTと本製品のインストールを同時に行うと、Windows NTのインストール中に本製品が使用するハードウェアリソースが他のデバイスと重複するおそれがあり、重複の回避に手間取ることがあります。



Windows NTでは**活線挿抜(コンピュータの電源を入れたままでカードの抜き挿しを行うこと)はできません。**本製品の挿抜を行う際には必ずコンピュータの電源がOFFになっていることをご確認ください。誤って活線挿抜を行った場合に起こった障害についてはユーザーサポートの対象外とさせていただきますので予めご了承ください。

本マニュアルではWindows NT Ver. 4.0 Workstation を用いて説明します

2 ドライバーのインストール

それでは、インストールを始めます。ここでは、「ネットワークアダプター用ドライバーを含むネットワーク環境が全くインストールされていない」場合の^{†1}インストール手順について説明します。また、Windows NTが要求する問い合わせに対して、基本的にはデフォルトで答えると仮定しています。

2.1 準備

用意するもの

1. LA-PCM-T V2 カード本体・メディアケーブル等
2. コンピュータ (Windows NT 4.0 インストール済み)
3. Windows NT の CD-ROM
4. LA-PCM-T V2 ドライバーディスク^{†2} (本製品付属)

インストールの前に

1. コンピュータの電源をオフにし、本製品をコンピュータのPCカードスロットに挿入します^{†3}。
2. 本製品をネットワークに接続します^{†3}。

†1 「Windows NT ネットワークのインストール」で「まだネットワークに接続しない (D)」を選択したとき、このダイアログが表示されます。

†2 ドライバーディスクは「AT互換機/PC98-NX用」「PC-9800/9821用」の2種類が用意されていますので、ご使用のコンピュータに合ったものをご使用ください。また、ドライバーは常に最新のものをご使用ください。最新のドライバーの入手方法は「付録S」の「最新ドライバーソフトウェアの入手方法」をご覧ください。

†3 詳細は本マニュアル第2部をご覧ください。

2.2 リソースの確認

2.2.1 概要

Windows NT は Plug & Play をサポートしていないため、本製品が使用するリソースの値をドライバーのインストール時に設定する必要があります。そのため、ドライバーをインストールする前にリソースの空き状況を調べる必要があります^{†1}。

本製品のドライバーに組み込まれているリソースの工場出荷時の値(2.2.2項参照)が、他のデバイスによって既に使用されている場合は重複を避けるため本製品の使用する値を変更します。(設定はドライバーのインストール時に表示される設定ダイアログで行います。)そのため、ドライバーをインストールする前に値が重複していないかを確認し、重複している場合は空いている値を調べてください。

リソースの状況を調べるには、コンピュータメーカーで予め定めてあるデバイスについてはコンピュータのマニュアルをご覧ください。また、本製品を含む拡張デバイスが追加されているコンピュータについては「Windows NT 診断プログラム」(2.2.3項参照)を使用するとそれらの拡張デバイスを含む、リソースの割り当て状況を確認できます。

2.2.2 リソースの値

工場出荷時の値および設定可能な値の範囲は以下の通りです。

I/O ベースアドレス

初期設定値 0x300

他の設定可能値 0x200、0x220、0x240、0x260、0x280、0x2A0、0x2C0、0x2E0、
0x300、0x320、0x340、0x360、0x380、0x3A0、0x3C0、0x3E0

IRQ (AT 互換機 / PC98-NX)

初期設定値 10(A)

他の設定可能値 3, 4, 5, 7, 9, 10(A), 11(B), 15(F)

IRQ (PC-9800/PC-9821)

初期設定値 5

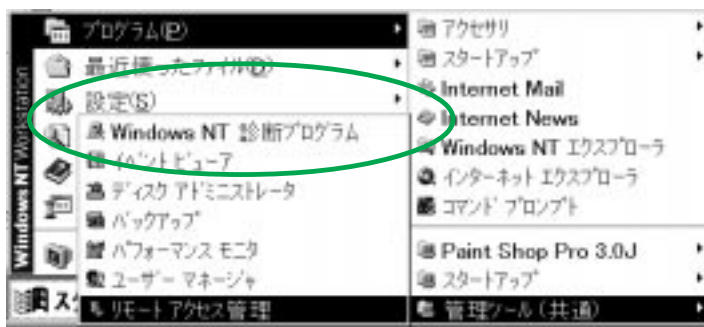
他の設定可能値 3, 5, 6, 10(A), 12(C)

^{†1} コンピュータに予め組み込まれているデバイスの中には「Windows NT 診断プログラム」上に表示されないものがありますので、必ずコンピュータのマニュアルと「Windows NT 診断プログラム」の2つを用いて確認を行ってください。

2.2.3 Windows NT 診断プログラムの使用方法

注：ここではAT互換機の例を用いて説明します。

1. 「スタート」「プログラム」「管理ツール」「Windows NT 診断プログラム」と進み、「Windows NT 診断プログラム」を起動します。



画面 2.1 Windows NT 診断プログラムの起動

2. 「リソース」タブを選択します。この段階では「IRQ」(インタラプト)の画面が表示されています。IRQの空き状況を確認してください。



画面 2.2 リソースの表示 (IRQ)

- 「I/Oポート」タブを選択し、I/O Base Address (「アドレス」の先頭値) の空き状況を確認してください。



画面 2.3 リソースの表示 (I/O Base Address)

- 「メモリ」タブを選択します。同様に空き状況を確認してください。



画面 2.4 メモリ

- Windows NT 診断プログラムを終了します。

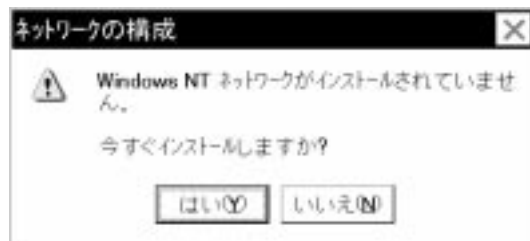
3 ドライバーのインストール

- (1) 「スタート」「設定」「コントロールパネル」と進み、「ネットワーク」アイコンをダブルクリックしてください。



画面 3.1 「ネットワーク」(コントロールパネル)

- (2) 下のダイアログが表示されます^{†1}。「今すぐインストールしますか?」の問いに対して、「はい(Y)」をクリックしてください。



画面 4.2

^{†1} 「Windows NT ネットワークのインストール」で「まだネットワークに接続しない(D)」を選択したとき、このダイアログが表示されます。このダイアログではなく「ネットワーク」パネルが表示された場合は、既にネットワークに関するWindowsNTファイルがインストールされています。この場合は「ネットワーク」パネルの「アダプタ」タブ「追加」と進むと、手順(4)の画面 3.4が表示され、本製品のみのインストールが始まります。

- (3) 「ネットワークセットアップウィザード」ダイアログが表示されます。「ネットワークに接続 (W):」にチェックマークを付け、「次へ (N)>」をクリックしてください。



画面 3.3

- (4) 画面 3.4 が表示されたら、「一覧から選択 (S)...」をクリックしてください。



画面 3.4

- (5) 「ディスク使用」をクリックしてください。



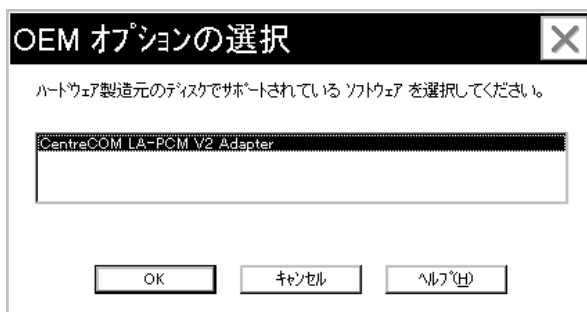
画面 3.5

- (6) 下のダイアログが表示されますので、ドライバディスクをディスクドライブに挿入し、パス「A:¥windows.nt¥40」を入力し、「OK」をクリックしてください。(ここでは、フロッピーディスクドライブをA:と仮定します。)



画面 3.6

- (7) 「CentreCOM LA-PCM V2 Adapter」を選択し、「OK」をクリックしてください。



画面 3.7

- (8) 「ネットワークアダプタ (A):」の「CentreCOM LA-PCM V2 Adapter」にチェックマークを付け、「次へ (N):」をクリックしてください。



画面 3.8

- (9) 使用するネットワークプロトコルにチェックマークを付け、「次へ (N):」をクリックしてください。(詳細はシステム管理者にご相談ください。)ここでは、「TCP/IP プロトコル」のみをチェックすると仮定します。



画面 3.9

- (10) 使用するサービスを設定し、「次へ (N)>」をクリックしてください。お客様のネットワークでどのようなサービスが使用されているかは、システム管理者にご相談ください。



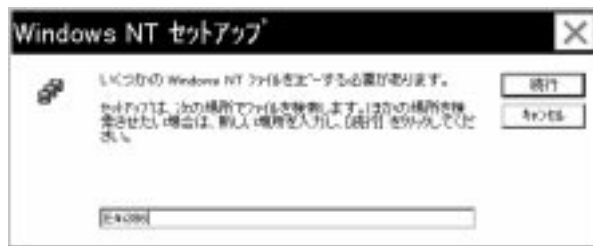
画面 3.10

- (11) メッセージを確認して、「次へ (N)>」をクリックしてください。



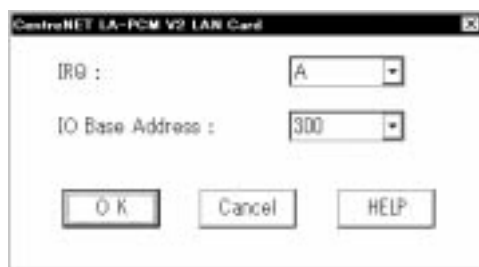
画面 3.11

- (12) Windows NTのインストール元のディレクトリを指定してください。AT互換機/NEC PC98-NXの場合は「I386」、NEC PC-9800/PC-9821の場合は「PC98」となります。(ここではCD-ROMのドライブ名をE:と仮定します。)



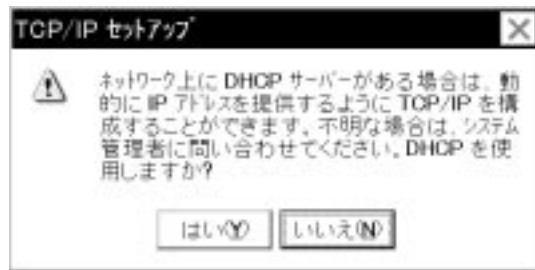
画面 3.12

- (13) 続いて本製品の設定画面が表示されます。「IRQ」(インタラプト)と「IOBaseAddress」(I/O ベースアドレス)に他のデバイスを重複しない適切な数値を入力し、「OK」をクリックしてください。



画面 3.13

- (14) ドライバーおよびWindowsファイルのコピーが始まります。手順(9)で「TCP/IP」を選択した場合はここで「DHCPを使用するか？」を質問されます。ここでは、デフォルトである「いいえ (N)」をクリックすると仮定します。



画面 3.14

- (15) (14)で「DHCPを使用しない」設定とした場合は「TCP/IPのプロパティ」としてIPアドレスなどの値を設定しなければなりません。下に入力例を示します。これらの値は、お客様の環境における値を入力してください。



画面 3.15

- (16) DNS (Domain Name System) の設定をします。「DNS」のタブをクリックしてください。下に入力例を示します。ここでは、ホスト名として「10cc」を仮定しています。



画面 3.16

- (17) 続いて、「WINS (Windows Internet Name Service) アドレス」の設定を行います。下の画面では、「Windows 名前解決に DNS を使う (N)」を仮定しました。



画面 3.17

必要であれば、さらに「ルーティング」の設定を行い[†]、最後に「OK」をクリックしてください。これらの設定の詳細についてはシステム管理者にご確認ください。

[†] この画面は Windows NT Workstation のものです。Windows NT Server をご使用の場合はさらに「DHCP リレー」タブがあります。DHCP リレーについての詳細は Windows NT Server のマニュアルまたはオンラインヘルプをご覧ください。

(18) 「次へ (N)」をクリックしてください。



画面 3.18

(19) 「次へ (N)」をクリックしてください。



画面 3.19

(20) 「次へ (N)」をクリックしてください。ここでは「ワークグループ (W)」をそのまま使用すると仮定します。詳細はシステム管理者にご確認ください。



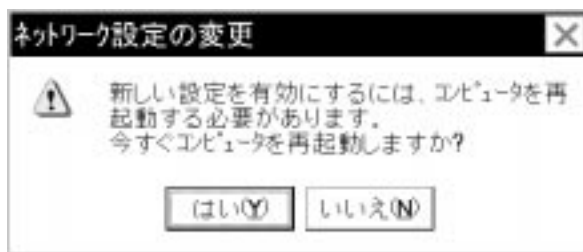
画面 3.20

(21) 「完了」をクリックしてください。



画面 3.21

(22) 「はい (Y)」をクリックし、(フロッピーディスクを取り出して)コンピュータを再起動してください。



画面 3.22

4 インストール後

4.1 リソース値の確認

コンピュータを再起動すると、本製品にリソースが割り当てられ、使用可能な状態となります。Windows NT 診断プログラムでデバイス「LAPCMV2」にインストール時に指定した値が割り当てられていることを確認してください[†]。(ただし、表示されるのはIRQおよびI/Oポート(I/Oベースアドレス)のみです。メモリについては表示されませんのでご了承ください。)



画面4.1 リソースの確認 (IRQ)




画面4.2 リソースの確認 (I/O Base Address)

[†] 「デバイス」タブ 「LAPCMV2」と進むと、本製品に割り当てられたリソースが一覧表示されます。(ただし、メモリについては表示されません。)

4.2 本製品を使用しないとき

ドライバーのインストール後、一時的に本製品を使用しないとき (= PC カードスロットに本製品が挿入されていない、またはネットワークケーブルをメディアケーブルから外している場合など)はドライバーをアンロードしてください。ドライバーがロードされたまま前述のことを行った場合、Windows NT はこれらの現象をネットワークのエラーとして検出し、イベントビューアによる警告が表示されるようになります。この現象はドライバーをアンロードすることによって回避できます。

- (1) 「コントロールパネル」 「ネットワーク」 「バインド」と進みます。
- (2) 本製品のアイコンを選択し、「無効」ボタンをクリックすると本製品のアイコンが無効 () アイコンに変わります。
- (3) 同様の手続きを、本製品にバインドしているプロトコル全てに対して行います。

5 ドライバーの削除と再インストール

本製品の登録内容を削除し、再びインストールする手順は以下のとおりです。ただし、ドライバーを削除しても、本製品にバインドしていたプロトコルやサービスは削除されません（一部の設定値、例えばTCP/IPにおけるIPアドレスなどは削除されます）。したがって、本製品を再インストールすれば、再びそれらのプロトコル、サービスなどを使用できます。

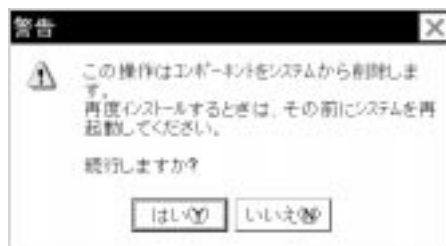
5.1 ドライバーの削除

- (1) 「マイコンピュータ」「コントロールパネル」「ネットワーク」とたどって行き、「ネットワーク」パネルの「アダプタ」タブをクリックしてください。
- (2) 「ネットワークアダプタ (N):」で「CentreCOM LA-PCM V2 Adapter」を選択し、「削除 (R)」ボタンをクリックしてください。



画面 5.1

- (3) 「はい」をクリックし、(フロッピーディスクが入っている場合は取り出して)コンピュータを再起動します。



画面 5.2

5.2 再インストール

終了後、再びドライバーのインストールを行う場合は「ネットワーク (コントロールパネル) を起動し、「アダプタ」タブで「追加..」をクリックしてください。(「3. ドライバーのインストール」の手順 10 から再開することになります。)

6

付録 A

1 規格仕様

1. ハードウェア仕様

カード規格：	PCMCIA Rel. 2.1 / JEIDA Ver. 4.2
ネットワーク：	IEEE 802.3 10BASE-T Ethernet Ver. 2.0

2. 機械的仕様

外形：	カード	85.6 × 54.0 × 5.0 (mm) Type II
	メディアケーブル	300 (mm) (コネクター部含む)
重量：	40 g (カード+メディアケーブル)	

3. 電氣的仕様

動作電圧：	DC + 5V ± 5%
消費電流：	55 mA (max)

4. 環境条件

周囲温度：	0 ~ 55 (PCカードの周囲)
	(注：PCカードの周囲温度であって、コンピュータの周囲温度ではありません)
湿度：	最大 95% (但し、結露なきこと)

5. 電気雑音の発生防止

雑音端子電圧：	VCCI クラス B
雑音電界強度：	VCCI クラス B

6. ネットワーク機能

(i) 転送速度	10M bps
(ii) RAM バッファ	32K bytes SRAM
(iii) I/O ベースアドレス	0x200, 0x220, 0x240, 0x260, 0x280, 0x2A0, 0x2C0, 0x2E0, 0x300, 0x320, 0x340, 0x360, 0x380, 0x3A0, 0x3C0, 0x3E0
(iv) インタラプト (IRQ)	3, 4, 5, 6, 7, 9,10(A),11(B),12(C),15(F)

2 10BASE-T インターフェース

本製品付属のメディアケーブルはRJ-45 型と呼ばれるモジュージャックを使用しています。

図 A.1 に、10BASE-T モジュージャックの信号線を図示します。

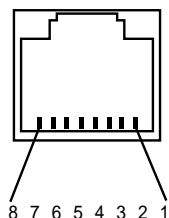


図 A.1 10BASE-T モジュージャック

- (1) TX+ 送信データ(+)
- (2) TX- 送信データ(-)
- (3) RX+ 受信データ(+)
- (4) --- 未使用
- (5) --- 未使用
- (6) RX- 受信データ(-)
- (7) --- 未使用
- (8) --- 未使用

A

3 MAC アドレス

Ethernetに接続される機器は、MACアドレス[†]と呼ばれるアドレスを使って通信を行います。MACアドレスは機器 (アダプター) のひとつひとつに割り当てられた唯一無二の (unique、ユニークな) アドレスです。

MACアドレスは、下記の 6 バイト (48 ビット) によって構成されており、本製品の内部に書き込まれているため、ユーザーが変更することはできません。

本製品のMACアドレスは、製品裏面に貼付されているMACアドレスラベルに記入されています (表記は全て 16 進数)。

00	00	F4	4x	xx	xx
ベンダー ID (*1)			通し番号 (*2)		

(*1) ベンダー ID: LANベンダー (LAN用機器を製造しているメーカー) が IEEE に申請することにより得られる識別番号。

(*2) この番号は、当社が製品のひとつひとつに割り当てた通し番号で本製品では42 ~ 49から始まる6桁の数値になっています。(この番号はシリアルナンバーとは別の物です。)

† MACアドレス (マックアドレスと読みます) は、物理アドレス、ネットワークアドレス、イーサネットアドレスと呼ばれることもあります。また、MACアドレスは、TCP/IPの環境で使用される IP アドレスに関係がありますが、これらは別の物です。

付録 S
保証・ユーザーサポート

1 保証

本製品に添付されている「永久保証書」の「製品保証規定」をお読みにになり、「お客さまインフォメーション登録カード」に必要事項を記入し、当社「お客さまインフォメーション登録係」までご返送ください。「お客さまインフォメーション登録カード」が返送されていない場合、修理や障害発生時のユーザーサポートなどを受けられません。

2 ユーザーサポート

障害回避などの技術的なサポートを受ける場合は、巻末の「調査依頼書」をプリントアウトしたものに必要事項を記入し、下記にファクスしてください。できるだけ電話による直接の問い合わせは避けてください。FAXによって詳細な情報を送付していただく方が、電話による問い合わせよりも遥かに早く問題を解決することができます。記入事項の詳細は、「調査依頼書のご記入にあたって」を参照してください。

記入内容の詳細については、「3 調査依頼書のご記入にあたって」をご覧ください。また、問題解決のためにより詳細な情報が必要になった場合に、こちらからお尋ねすることもございますので予めご了承ください。

アライドテレシス（株）サポートセンター

Fax: ☎ 0120-860-662 年中無休 24 時間受付

Tel: ☎ 0120-860-772 月～金（祝・祭日を除く）
10:00-12:00、13:00-17:00

3 調査依頼書のご記入にあたって

本依頼書は、お客様の環境で発生した様々な障害の原因を究明するためにご記入いただくものです。ご提供していただく情報が不十分な場合には、障害の原因を突き止めることに時間がかかり、最悪の場合には障害の解消ができないこともあります。

迅速に障害の解消を行うためにも、また当社の担当者が障害の発生した環境を理解できるよう、以下の点に従ってご記入ください。

記入用紙に書き切れない場合には、別紙としてプリントアウトなどを添付してください。なお、都合によりご連絡の遅れることもございますので、予めご了承ください。

ハードウェアとソフトウェア

1. ご使用製品のシリアルナンバー・製品レビジョン

本製品裏面に貼られたラベルに記入されているシリアルナンバー(S/N)、製品レビジョンコード(Rev.)を調査依頼書に記入してください。

(例)  S/N 00077000002346 Rev AA

2. ご使用の当社のソフトウェア

当社製ソフトウェアをご使用になっている場合は、そのソフトウェアの種類/バージョン(Ver.)/シリアルナンバー(S/N)を記入してください。それらは、フロッピーディスクのラベル上に記入されています。

3. ご使用のコンピュータの機種

ご使用になっているコンピュータのメーカー名、機種名

4. ご使用の周辺機器 (CD-ROM ドライブ、サウンドボード、SCSI ボードなど)

他社製の拡張アダプターやメモリマネージャなどのユーティリティをご使用の場合はそれら全てについてご記入ください。

5. ご使用のサーバー、UNIX システムの機種、OS など

接続しているサーバーの機種とその環境も可能な限りご記入ください。

(例えば、NetWare 3.12J、NEWS-OS Rel. 4.2R など)

お問い合わせ内容

- * どのような症状が発生するのか、それはどのような状況で発生するのかを**できる限り具体的に（再現できるように）**記入してください。
- * 障害などが発生する場合には、**本カードと併用されているユーティリティや、アプリケーションの処理内容**もご記入ください。
- * AUTOEXEC.BAT、CONFIG.SYS、**バッチファイル**に関しては、そのファイル内容のプリントアウトを必ず添付してください。
- * エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、**表示されるメッセージの内容のプリントアウト**などを添付してください。
- * (Windows95・Windows NT **の場合のみ**) 可能な限り、お手数ですが**システムレポート**(OSが自動生成するシステムに関するレポート、名称はOSによって異なります)を出力し、添付下さるようお願いいたします。

システムレポートの出力方法

1. Windows95 の場合

- (1) コントロールパネルから「システム」を起動し、「デバイスマネージャ」タブを表示します。
- (2) 「印刷(N)...」ボタンをクリックします。
- (3) 「レポートの種類」では「すべてのデバイスとシステムの概要(A)」を選択してください。以後、画面の指示にしたがってください。

2. Windows NT Ver.3.51 の場合

- (1) 「プログラムマネージャ」「管理ツール」と進み、「Windows NT 診断プログラム」アイコンをダブルクリックして起動します。
- (2) 「ファイル(F)」メニューの「レポートの印刷(P)...」コマンドを選択します。
- (3) 「レポートオプションの印刷」オプションでは「すべてレポートする(R)」を選択してください。以後、画面の指示にしたがってください。

3. Windows NT Ver.4.0 の場合

- (1) 「スタート」「プログラム」「管理ツール(共通)」「Windows NT 診断プログラム」と進み、「Windows NT 診断プログラム」を起動します。
- (2) 「印刷(N)...」ボタンをクリックします。
- (3) 「レポートの作成」が表示されます。各オプションについては、「範囲」は「すべてのタブ(A)」を、「詳細レベル」は「完全(M)」を選択してください。以後、画面の指示にしたがってください。

接続の構成図

- * ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。

4 最新ドライバーソフトウェアの入手方法

当社は、改良などのために予告なく、本製品のドライバーのバージョンアップやパッチレベルアップを行うことがあります。最新のドライバーソフトウェアは、次の2つの方法で入手することができます。

インターネットのホームページからの入手

- (1) Microsoft Internet Explorer、Netscape NavigatorなどのWebブラウザを使用して、アライドテレシスのホームページ「<http://www.allied-telesis.co.jp>」にアクセスします。
- (2) 「DOWNLOAD」をクリックしてください。
- (3) 以後、画面の指示にしたがってください。

フロッピーディスクでの入手

当社の**カスタマー・マーケティング** (TEL. ☎ 0120-860-442、9:00 ~ 17:30 / 月~金)までお問い合わせください。実費にて最新ドライバーのフロッピーディスクをご提供いたします。

調査依頼書(CentreCOM LA-PCM-T V2 2/2)

年 月 日

お問い合わせ内容 別紙あり 別紙なし

セットアップ中に起こっている障害 セットアップ後、運用中に起こっている障害

接続の構成図

簡単で結構ですからご記入をお願いします。

アライドテレシス株式会社

PN J613-M0201-00 Rev.B 980203